山形県スポーツコミッション活動実績

（2018 年度～2020 年度）

2021 年 3 月

目　　次

Ⅰ　山形県スポーツコミッション事業活動 …… 1
【平成 30 年度】
1 山形県スポーツコミッションキックオフミーティングの開催 …… 1
2 スポーツ大会、スポーツ合宿の誘致活動 …… 1
3 県内のスポーツを通した地域づくりを担う人材の育成 …… 2
【令和元年度】
1 スポーツ大会、スポーツ合宿の誘致活動 …… 4
【令和2年度】
1 スポーツ大会、スポーツ合宿の誘致活動 …… 8
2 県内のスポーツを通した地域づくりを担う人材の育成 …… 11

Ⅱ県内のスポーツ施設等の国内外への情報発信 …… 13
1 インターネットによる情報発信活動 …… 13
2 その他の情報発信 …… 15

Ⅲ　山形県合宿補助金利用団体 …… 16

Ⅳ　山形県スポーツコミッション推進本部会議・運営委員会開催状況 …… 17
【平成 30 年度】
1 山形県スポーツコミッション（仮称）準備委員会 …… 17
2 山形県スポーツコミッション推進本部 …… 17
3 山形県スポーツコミッション運営委員会 …… 18
【令和元年度】
1 山形県スポーツコミッション推進本部 …… 18
2 山形県スポーツコミッション運営委員会 …… 18
【令和2年度】
1 山形県スポーツコミッション推進本部 …… 19
2 山形県スポーツコミッション運営委員会 …… 19

山形県スポーツコミッション規約 …… 20

会員一覧 …… 23

資料集 …… 24
資料 1 山形県スポーツコミッションキックオフミーティング記念講演 …… 25
資料2-1 2018 年山形県スポーツコミッション体制整備委員会トライアル事業実施報告書 …… 27
資料2-2 2019 年山形県スポーツコミッショントライアル事業実施報告書 …… 33
資料3-1 平成 30 年度研修会資料 …… 41
資料3-2 令和 2 年度研修会資料 …… 55
資料4 2019 年度山形県スポーツコミッションスポーツ合宿調査 …… 76
資料5 パブリックビューイング事業実績報告書 …… 82

Ⅰ　山形県スポーツコミッション事業活動

【平成 30 年度】

１　山形県スポーツコミッションキックオフミーティングの開催

山形県スポーツコミッションの設立を記念し開催

◇日　時：平成 30 年 10 月 22 日（月）13:15～14:30

◇場　所：山形グランドホテル２階「サンリヴァ」

◇出席者：名誉会長（知事）、推進本部会長及び委員、各市町村など　計 112 名出席

◇概　要

・主催者挨拶　名誉会長（吉村美栄子山形県知事）

・スポーツコミッション取組み紹介（山形県観光文化スポーツ部県民文化スポーツ課長）

・基調講演（**資料１**）

講　師　木田　悟　氏（一般財団法人日本スポーツコミッション理事長）

テーマ　「スポーツを活かした地域の活性化とは」

名誉会長（知事）挨拶

基調講演

２　スポーツ大会、スポーツ合宿等の誘致活動

⑴　全国レベルのスポーツイベントの誘致活動の実施

○　トライアル事業（**資料２－１**）

■ＮＴＴ東日本野球部地域貢献活動と連携した野球教室等の開催

県内高校生対象の野球教室、「きらやか銀行野球部」との強化試合等の実施

◇実施期間　平成 30 年８月１日（水）～　８月３日（金）

◇協　　力　NTT 東日本野球部、きらやか銀行野球部、山形県野球連盟、山形県高校野球連盟

高校生へキャッチング指導	強化試合（NTT 東日本 VS きらやか銀行）

⑵　情報収集活動

スポーツツーリズム等の情報収集、合宿・イベント誘致を進めるため、コンサルタントへの委託による情報収集、一般財団法人日本スポーツコミッション（スポーツコミッションの商標登録を行っている団体）主催のスポーツコミッション研究会、サイクリズム研究会へ参加

⑶　スポーツ大会、スポーツ合宿受入のための相談窓口設置

山形県スポーツ振興 21 世紀協会内に開設（10 月 22 日）

３　県内のスポーツを通した地域づくりを担う人材の育成

■　山形県スポーツコミッション研修会（会員連絡会併催）（**資料３－１**）

◇日　時：平成 31 年 1 月 29 日（火）14:00～16:00

◇場　所：山形県総合運動公園　大会議室

◇出席者：各市町村など　計約 50 名出席

◇概　要

・講　演

講　師　工藤　康宏　氏（順天堂大学先任准教授）

テーマ　「スポーツツーリズムによる地域の活性化について」

講　師　酒川　聖　氏（株式会社スポーツインダストリーマネージャー）

テーマ　「合宿誘致・スポーツイベント運営などの実践的アドバイス」

・情報提供・意見交換

平成 31 年度県予算の状況及びホームページのメンテナンス等について

工藤講師	酒川講師

【令和元年度】

1　スポーツ大会、スポーツ合宿等の誘致活動

⑴　全国レベルのスポーツイベントの誘致活動の実施

①　スポーツイベントマネジメント会社（委託）による情報収集と誘致活動

◇委託先：株式会社スポーツインダストリー

◇期　間：平成 31 年４月１日～令和２年３月３１日

◇内　容：スポーツ団体等への告知・紹介、合宿・スポーツイベントの誘致活動等

（実績）

・8 月　NTT 東日本野球部地域貢献活動誘致（選手 30 名ほか計 37 名、2 泊）

・8 月　小樽北照高校野球部合宿誘致（荘銀日新スタジアムやまがた）甲子園出場のため中止

・令和 2 年 8 月予定　大正大学野球部合宿誘致（新庄市民球場）

・令和 2 年 8 月予定　ABE　DANCE　PROMOTION 合宿誘致（天童市スポーツセンター）

②　情報収集活動

一般財団法人日本スポーツコミッション（スポーツコミッションの商標登録を行っている団体）主催のスポーツコミッション研究会等へ参加

③　首都圏における合宿誘致相談会の開催（SPORTEC for LEISURE&GAME への出展）

◇日　時：令和元年５月２２日（水）～２４日（金）

◇場　所：東京ビックサイト

◇内　容：パネル・パンフレット展示、合宿等相談コーナー

（合宿支援制度概要、スポーツ施設、イベント、ホストタウン、観光情報）

◇共　催：米沢市、寒河江市、上山市、村山市、天童市、遊佐町

◇来場者：３日間で約 1.6 万人

◇実　績：約 1,000 人に資料配布

類似団体との意見交換（岩手県、さいたま市、金沢市のスポーツコミッション）

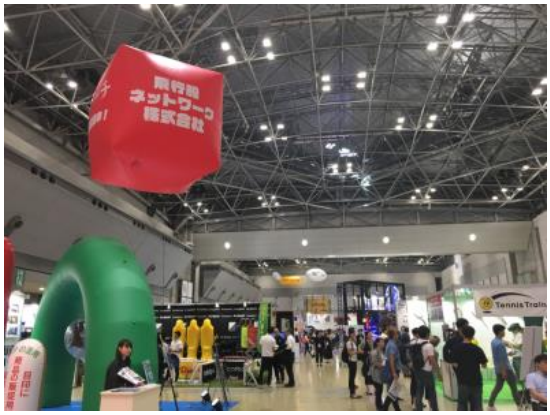
◇出展後反応：旅行代理店からのサッカー大会の提案、合宿先の照会

◇課　題：今回の出展は本コミッションの首都圏における認知度向上が一番のねらいであり、その点では成果があったが、これを今後の活動に活かしていくことが重要である。このため、今回収集した情報をベースに情報発信していく具体策を検討する必要がある。

他県の団体からの情報として、県レベルの組織では市町村との連携が難しいという情報であったが、これは本県でも同様である。具体的な事業展開の方法を市町村と情報共有する必要がある。

また、スポーツイベントの誘致では、地元スポーツ団体等の主体的参加が必要であり、大会主催者への支援だけではなく、地元への支援制度を設けている団体があ

り、本県でも検討に値する課題である。



会場内

ブース来場者

ブース全容

出展内容

③　合宿誘致のための旅行代理店 PR 活動の実施

次の課題への対応

・合宿誘致の首都圏での PR

・合宿に関する問合せは、大学等の実施主体ではなく旅行代理店からの照会が中心

・首都圏でスポーツ合宿に力をいれている旅行代理店への PR 活動を実施するとともに、最近の合宿事情を調査

◇株式会社スポーツインダストリーの案内で実施

◇期　日　　令和 2 年 2 月 18 日（火）～19 日（水）

◇訪問旅行代理店

旅行代理店名	備　　考
グランスポーツ（調布市）	サッカーに強い旅行代理店 インバウンド
ＪＴＢグローバルビジネス推進課（新宿区）	総合的旅行代理店
コスモエージェンシー(渋谷区)	学生中心の旅行代理店

	競技種目は広範囲
ジャパンスポーツプロモーション（渋谷区）	サッカー専門旅行代理店
トラベルセゾン（千代田区）	学生中心旅行代理店 幅広い競技対応

◇訪問結果

・各社ともスポーツ施設の予約に苦慮している。合宿終了後次の合宿先を探すが、多くの施設が３カ月前、１カ月前からの予約受付となっている。

・学生の場合、低予算のため首都圏から近いエリアでの合宿先を探す傾向がある。特に公立高校等は距離制限がある場合が多い。支援制度が必要。

・特徴のある企画提案が欲しい。

⑵　スポーツイベント等の受入れ体制整備づくり

①　トライアル事業（**資料２－２**）

■ＮＴＴ東日本野球部地域貢献活動と連携した野球教室等の開催

県内高校生や小中学生を対象に野球教室及び今年の都市対抗野球に出場した「きらやか銀行野球部」との強化試合等を実施するとともに、未就学児童向けの野球体験コーナーやホームランマルシェ等を開催

◇実施期間　令和元年８月２日（金）～　８月４日（日）

◇協　　力　ＮＴＴ東日本野球部、きらやか銀行野球部、山形県野球連盟、山形県高校野球連盟、山形県中学校体育連盟軟式野球部会、日本ティーボール協会山形県連盟、山形県野球スポーツ少年団協議会、株式会社楽天野球団、青山建設株式会社

強化試合　NTT 東日本野球部対きらやか銀行

高校生野球教室

中学生野球教室

楽天イーグルス野球教室

② 合宿等実施状況調査について（**資料４**）

◇対　　象：県内で合宿を実施した大学等（75 団体）

◇調査方法：郵送

◇調査時期：令和元年 11 月

◇調査内容：合宿等実施日程、競技種目、会場（必要施設）、利用者数、宿泊先等

③ 山形県内の市町村におけるスポーツ資源に関する調査（資料　３－２参照）

◇対　　象：県内市町村

◇委 託 先：順天堂大学　先任准教授　工藤　康宏

北海道教育大学　教　授　石澤　伸弘

◇調査方法：インターネット

◇調査時期：令和２年２月

◇調査内容：スポーツ施設利用者数、利用目的、合宿受入実績、合宿受入意向等

⑶ スポーツ大会、文化・スポーツ合宿受入、相談窓口の運営

① スポーツ大会の受入れ

◇実　績：１団体

◆ＪＡ共済トーナメント日本リトルシニア国際野球大会

・期　間：７月２５日～２９日

・参加者：８９チーム、監督・選手など 2，432 名参加（うち台湾チーム１６名）

② 新たなスポーツイベントの企画サポート

◇実　績

◆ハーフパイプ-レッスン　イン　白い森小国

小国町が PSAA（プロスノーボーダーズアソシエーションアジア）と連携し企画したハーフパイプ（スノーボード）のレッスン及び成果発表大会の企画をサポート

（令和２年３月８日開催予定で準備を進めたが、雪不足により中止）

【令和２年度】

１　スポーツ大会、スポーツ合宿等の誘致活動

⑴　全国レベルのスポーツイベントの誘致活動の実施

①　首都圏における合宿誘致活動

新型コロナウイルス感染症のため中止

②　会員団体と連携した情報収集と誘致活動

（コミッション誘致実績）

■日本女子ソフトボールリーグ１部チーム　豊田自動織機 VS ホンダリベルタ強化試合

◇日　時　７月９日（木）

◇場　所　白鷹町ソフトボール場

■ＮＴＴコミュニケーションズラグビー部合宿誘致

ラグビートップリーグで活躍する NTT コミュニケーションズラグビー部シャイニングアークスの２０２１シーズンに向けた強化合宿を山形県ラグビーフットボール協会と連携し誘致し、選手・スタッフ７０名以上が来県

◇日　時　１０月１２日（月）～１７日（土）

◇場　所　山形県総合運動公園

◇歓迎セレモニー及び練習視察会の開催（１２日）

◇ラグビークリニック開催（１７日）山形県ラグビーフットボール協会主催

小学生、指導者４３名参加

歓迎セレモニー

シャイニングアークス

練習風景

ラグビークリニック

⑵　スポーツイベント等の受入れ体制整備づくり

①　山形県野球連盟、県高校野球連盟と連携したトライアル事業

ＮＴＴ東日本野球部の地域貢献活動と連携して、県内高校生や小中学生を対象に野球教室及び都市対抗野球に出場した「きらやか銀行野球部」との強化試合等を予定したが新型コロナウイルス感染症のため中止

②　ＮＥＣグリーンロケッツラグビー教室実施

2019 年にラグビーワールドカップ公認キャンプが本県（山形市、天童市）で実施された記念事業として、山形県、山形市、天童市と連携しオンラインでのＮＥＣグリーンロケッツの選手、コーチ等によるラグビー教室を実施

◇日　時　９月５日（土）

◇場　所　山形県総合運動公園

◇参加者　県内高校生ラグビー部員　３校２２名

つや姫セブンズ　８名　選手計５０名

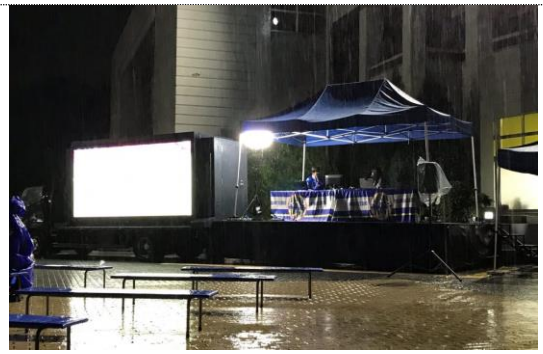
③　モンテディオ山形パブリックビューイング（**資料５**）

山形県（スポーツ庁令和２年度補正予算「スポーツイベントの再開支援」を活用）からの助成を受けてＷＩＴＨコロナ時代の新しいスポーツイベントの体制づくり

スポーツ観戦のあり方や楽しみ方を検証しつつ、県民のスポーツへの関心の喚起と、スポーツを通じた賑わいづくりを推進し、Ｊ２リーグの再開を盛り上げるため、モンテディオ山形のアウェイゲームにおいて、フィジカルディスタンスを確保しつつ屋外パブリックビューイングを㈱モンテディオ山形に委託し実施

◇日　時　９月　５日（土）　VS　松本山雅 FC（キックオフ 18：00）
来場者数　３６０名
９月１３日（日）　VS　大宮アルディージャ（キックオフ 19：00）
来場者数　１６０名

◇会　場　ND ソフトスタジアム山形正面広場



④　スポーツ大会、スポーツ合宿受入のための相談窓口の運営
市町村と連携し誘致した合宿が、新型コロナウイルス感染症のため中止
【新庄市】大正大学野球部
【天童市】ABE　DANCE　PROMOTION（ダンス）

２　県内のスポーツを通した地域づくりを担う人材の育成

■　山形県スポーツコミッション研修会（会員連絡会併催）（**資料３－２**）
◇日　時：令和３年１月２１日（木）１３：００～
◇場　所：山形県総合運動公園会議室（主会場）、リモート開催
◇出席者：39 名（うちリモート参加者 35 名）
◇概　要
・講　演
山形県内の市町村におけるスポーツ資源に関する調査結果を踏まえて
講師　順天堂大学先任准教授　工藤　康宏　氏
北海道のスポーツ合宿における自治体の取組みについて
講師　北海道教育大学教授　石澤　伸弘　氏
・意見交換

	研究結果：管内別実施率 HOKKAIDO UNIVERSITY OF EDUCAT SAPPORO hue
工藤講師	石澤講師

Ⅱ　県内のスポーツ施設等の国内外への情報発信

１　インターネットによる情報発信活動

①　県内のスポーツ施設、宿泊施設、観光情報等発信のためのホームページの運用開始

平成３０年１０月より運用開始

◇掲載施設（令和３年２月末現在）

・スポーツ施設　２７１施設

・宿泊施設　１５３施設

◇合宿等で活用できる県・市町村支援事業（補助金）

②　フェイスブックの運用開始（H31 年 2 月 1 日）

③　ＨＰ・フェイスブックによるコミッションの活動状況報告

【令和３年（2021 年)】

1 月 26 日令和２年度 山形県スポーツコミッション研修会開催報告

【令和２年（2020 年)】

12 月 4 日【上山市スポーツイベント情報】2021 年 1 月 準高地トレーニング体験参加者募集！

11 月 25 日【寒河江市スポーツ情報】パラリンピック正式競技 BOOCIA（ボッチャ）の紹介ムービー公開（YouTube）

11 月 1 日【上山市スポーツイベント情報】 12 月 準高地トレーニング体験参加者募集！

10 月 27 日【寒河江市スポーツイベント情報】モンテディオ山形 × 寒河江市 寒河江市応援援デーのお知らせ

10 月 13 日【スポーツ合宿情報】NTT コミュニケーションズ ラグビー部 シャイニングアークス

10 月 2 日【寒河江市スポーツイベント情報】さがえ スケートボード スクール vol.2 開催！

10 月 1 日【上山市スポーツイベント情報】 11 月 準高地トレーニング体験参加者募集！

9 月 14 日　やまがたプロスポーツ・文化施設応援プロジェクトのお知らせ

9 月 14 日　モンテディオ山形 アウェイ大宮戦パブリックビューイング

9 月 12 日【上山市スポーツイベント情報】準高地トレーニング体験参加者募集！

9 月 10 日　モンテディオ山形 アウェイ松本戦パブリックビューイングのお知らせ

9 月 8 日　NEC グリーンロケッツ オンラインラグビー教室開催

9 月 1 日【寒河江市スポーツイベント情報】さがえ スケートボード スクール 開催！

8 月 31 日【お知らせ】やまがたプロスポーツ応援キャンペーン

8 月 28 日　山形県スポーツコミッション Presents モンテディオ山形パブリックビューイングイベント開催のお知らせ

8 月 9 日 【上山市スポーツ合宿情報】陸上：実業団中距離選手合同合宿

8 月 4 日 【上山市スポーツ情報】山形県上山市で、日帰り合宿体験！イベント紹介

7 月 16 日【白鷹町スポーツ情報】日本女子ソフトボールリーグ 1 部チーム 練習試合開催！

6 月 22 日【寒河江市スポーツイベント情報】第 44 回“さがえ”さくらんぼマラソン大会 ハーフマラソンコース紹介動画

6 月 21 日【上山市】坊平リカバリー温泉　高源ゆ　7/3 グランドオープン！

6 月 8 日 【会員支援情報】山形さくらんぼシーズン到来!!（販売 PR）

6 月 2 日　新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う山形県内のスポーツ施設開館・休館情報

3 月 17 日【寒河江市スポーツイベント情報】RUN MEETING さがえ［谷川真里ランニング教室］開催！

2月7日　【寒河江市スポーツイベント情報】SAGAE SPORTS FESTIVAL 2020開催報告
2月7日　【寒河江市スポーツイベント情報】SAGAE ADVENTURE BEGINS vol.2開催報告

【令和元年（2019年)】
12月27日【寒河江市スポーツイベント情報】SAGAE SPORTS FESTIVAL
12月23日【寒河江市スポーツイベント情報】SAGAE ADVENTURE BEGINS vol.2開催案内
12月23日【遊佐町スポーツイベント情報】「スポーツ雪合戦®」参加者募集！
11月15日【寒河江市スポーツイベント情報】SAGAE ADVENTURE BEGINSvol.1開催報告
9月18日【寒河江市スポーツイベント情報】SAGAE ADVENTURE BEGINSvol.1開催案内
8月31日【スポーツ合宿情報】城西大学女子駅伝部
7月17日【プレスリリース】山形県スポーツコミッション「野球教室」及びNTT東日本野球部「強化試合」の開催
7月16日【スポーツ合月宿情報】ジェイテクトSTINGS（Vリーグ：男子バレーボール）
7月10日【スポーツ合宿情報】しまむら女子陸上競技部 阿部有香里選手（マラソン）
7月8日　【栄養士会】2019年度栄養の日記念事業食育セミナー開催
6月20日【遊佐町スポーツイベント情報】「第２７回奥の細道鳥海ツーデーマーチ」参加者募集！
6月14日【天童市スポーツイベント情報】天童ラ・フランスマラソン2019開催！エントリー受付中‼
6月7日【スポーツ合宿情報】トヨタ自動車女子バスケットボール部アンテロープス
5月25日 SPORTEC（スポルテック）2019出展報告
5月12日 2019さがえトライアスロンフェスティバル ボランティア募集
5月10日【寒河江市スポーツイベント情報】第43回 “さがえ”さくらんぼ マラソン大会開催！
4月26日【栄養士会】栄養セミナー開催情報
4月17日 SPORTEC（スポルテック）2019に出展します！
4月16日【遊佐町スポーツイベント情報】「鳥海山SEA TO SUMMIT 2019」大会情報を公開！
3月19日【遊佐町スポーツイベント情報】第３８回鳥海ブルーライン登山マラソン大会参加者募集！
2月1日山形県スポーツコミッション研修会開催（1月29日）

２　その他の情報発信

①　山形県スポーツコミッションの概要チラシ（**別添資料**）
②　山形県スポーツ合宿補助金制度紹介チラシ（**別添資料**）

Ⅲ　山形県合宿支援補助金利用団体

◆平成 30 年度　　実　績：7 団体　　231 名

NO	市町村名	団　　体　　名	日　　程	人　　数
1	米沢市	中央学院大学サッカー部	8/9～14 (5 泊)	21 名(105 人泊)
2		足利大学サッカー部	8/9～14 (5 泊)	29 名(145 人泊)
3		流通経済大学サッカー部	8/9～14 (5 泊)	38 名(190 人泊)
4		白鴎大学サッカー部	8/9～14 (5 泊)	40 名(200 人泊)
5		城西大学サッカー部	8/9～14 (5 泊)	23 名(115 人泊)
6	上山市	水城高校女子駅伝部	8/16～19 (3 泊)	22 名(66 人泊)
7	中山町	日本体育大学女子ソフトボール部	8/13～16 (3 泊)	58 名(174 人泊)

◆令和元年度　　実　績：12 団体　　496 名

NO	市町村名	団　　体　　名	日　　程	人　　数
1	上山市	トヨタ自動車バスケットボール部	6/3～10 (8 泊)	20 名(150 人泊)
2		慶応義塾大学体育会競走部長距離ブロック	8/9～16 (7 泊)	38 名(259 人泊)
3		大東文化大学陸上部	8/9～16 (7 泊)	26 名(216 人泊)
4		立教大学陸上部	8/4～18 (14 泊)	32 名(411 人泊)
5	天童市	東海大学湘南校舎体育会準硬式野球部	8/10～14 (4 泊)	53 名(211 人泊)
6		慶応義塾大学理工学部体育会硬式野球部	8/19～24 (5 泊)	41 名(235 人泊)
7		早稲田大学理工硬式野球部	8/26～31 (5 泊)	43 名(183 人泊)
8		明治大学理工学部野球部	9/8～12 (4 泊)	34 名(134 人泊)
9		山形県バスケットボール協会 （マレーシア代表女子バスケットボールチーム）	11/2～12 (10 泊)	19 名(190 人泊)
10	村山市	日本女子体育大学新体操部	9/2～5 (3 泊)	74 名(220 人泊)
11	酒田市	東京大学運動会剣道部	8/19～24 (4 泊)	59 名(230 人泊)
12	遊佐町	慶應義塾大学・日本女子大学混声合唱団コール メロディオン	9/2～8 (6 泊)	57 名(319 人泊)

◆令和 2 年度　　実　績：　－

Ⅳ　山形県スポーツコミッション推進本部会議･運営委員会開催状況

【平成３０年度】

１　山形県スポーツコミッション（仮称）準備委員会

日　時：平成 30 年 9 月 6 日（木）13:30～15:00

場　所：山形県総合運動公園　アリーナ棟 A-1 会議室

協議事項

①　山形県スポーツコミッション設立趣意書について

②　山形県スポーツコミッション（仮称）規約(案)について

③　平成 30 年度山形県スポーツコミッション（仮称）事業計画（案）について

④　平成 30 年度山形県スポーツコミッション（仮称）収支予算（案）について

委員長挨拶

準備委員会

２　山形県スポーツコミッション推進本部会議

日　時：平成 30 年 10 月 22 日（月）12:45～13:05

場　所：山形グランドホテル２階「アルプス」

協議事項

①　山形県スポーツコミッション設立趣意書について

②　山形県スポーツコミッション（仮称）規約(案)について

③　平成 30 年度山形県スポーツコミッション（仮称）事業計画（案）、及び収支予算（案）について

３　山形県スポーツコミッション運営委員会

日　時：平成 31 年 3 月 20 日（水）14:00～15:00

場　所：山形県総合運動公園　アリーナ棟 A-1 会議室

協議事項

①　平成 30 年度山形県スポーツコミッション事業報告（案）について

②　平成 30 年度山形県スポーツコミッション収支決算（案）について

③　平成 31 年度山形県スポーツコミッション事業計画（案）について

④　平成 31 年度山形県スポーツコミッション収支予算（案）について

【令和元年度】

１　山形県スポーツコミッション推進本部会議（書面）

日　時：平成 31 年４月

協議事項

①　平成 30 年度山形県スポーツコミッション事業報告（案）について

②　平成 30 年度山形県スポーツコミッション収支決算（案）について

③　平成 31 年度山形県スポーツコミッション事業計画（案）について

④　平成 31 年度山形県スポーツコミッション収支予算（案）について

２　山形県スポーツコミッション運営委員会

⑴　第 1 回運営委員会

日　時：令和元年 10 月 4 日（金）

場　所：山形県総合運動公園会議室

協議事項

①　令和元年度山形県スポーツコミッション事業報告（中間）

②　合宿等実施状況調査について

③　山形県スポーツコミッション事業推進のための基礎資料収集について

⑵　第２回運営委員会（書面）

日　時：令和 2 年 3 月

協議事項

①　令和元年度山形県スポーツコミッション事業報告（案）について

②　令和元年度山形県スポーツコミッション収支決算（案）について

③　令和２年度山形県スポーツコミッション事業計画（案）について

④　令和２年度山形県スポーツコミッション収支予算（案）について

【令和２年度】

１　山形県スポーツコミッション推進本部会議（書面）

日　時：令和２年５月

協議事項

①　令和元年度山形県スポーツコミッション事業報告（案）について

②　令和元年度山形県スポーツコミッション収支決算（案）について

③　令和２年度山形県スポーツコミッション事業計画（案）について

④　令和２年度山形県スポーツコミッション収支予算（案）について

２　　山形県スポーツコミッション運営委員会

⑴　第１回運営委員会（書面）

日　時：令和２年８月

協議事項

①　モンテディオ山形パブリックビューイングの実施について

②　令和２年度山形県スポーツコミッション事業報告（中間）

⑵　第２回運営委員会

日　時：令和２年１１月２４日（火）１４：００～

場　所：山形県庁１１０１会議室

協議事項

①　令和２年度山形県スポーツコミッション事業報告（中間）について

②　今後の山形県スポーツコミッションの活動について

⑶　第３回運営委員会

日　時：令和３年３月１７日（水）１３：３０～

場　所：山形県総合運動公園会議室

協議事項

①　令和２年度山形県スポーツコミッション事業報告（案）について

②　令和２年度山形県スポーツコミッション収支決算（案）について

③　令和３年度山形県スポーツコミッション事業計画（案）について

④　令和３年度山形県スポーツコミッション収支予算（案）について

山形県スポーツコミッション規約

（名称）

第１条　本組織は、山形県スポーツコミッション（以下「コミッション」という。）と称する。

（目的）

第２条　コミッションは、国内外からのスポーツ大会、合宿等の誘致や受入支援、スポーツ施設・スポーツ大会に関する情報や文化・観光資源に関する情報の発信を行い、文化資源など地域の資源を活かしたスポーツツーリズム等スポーツを核にした交流による地域活性化を図るため、関係者が一体となった取組みを推進することを目的とする。

（事業）

第３条　コミッションは、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行うものとする。

（１）　スポーツ大会、合宿、イベント等の誘致及び受入支援

（２）　県内スポーツ施設、宿泊施設、文化・観光資源等の国内外への情報発信

（３）　スポーツと地域文化等と組み合わせたスポーツマネジメント等を行う人材の育成

（４）　その他コミッションの目的を達成するために必要な事業

（会員）

第４条　コミッションの会員は、第２条の目的に賛同し、前条の事業に協力する行政機関、スポーツ団体、観光団体、経済団体、報道機関、大学、農業団体、医療関係団体等で、コミッションに入会する団体をもって構成する。

２　会員はコミッションの事業に関し、必要に応じ参加・協力する。

（推進本部）

第５条　コミッションの事業を推進するため、山形県スポーツコミッション推進本部（以下「推進本部」という。）を置く。

２　推進本部は、次の事項について審議する。

（１）規約の改廃

（２）事業計画及び収支予算

（３）事業報告及び収支決算

（４）その他推進本部の運営に関する重要事項

３　推進本部は、別表１に掲げる会長及び委員により組織する。

４　推進本部は、会長が招集し、これを主宰する。

５　推進本部の議事については、出席者の過半数により決するものとし、必要に応じて書面による決議とすることができるものとする。

（名誉会長）

第６条　推進本部に名誉会長を置き、山形県知事をもって充てる。

２　名誉会長は、大局的な見地から、会長の諮問に応え又は会長に対し意見を述べることができる。

（運営委員会）

第７条　コミッションに運営委員会を置く。

２　運営委員会は、別表２及び会長が委嘱する学識経験者により組織する。

３　運営委員会は、推進本部に付議すべき事項を審議する。

４　運営委員会は、委員長が招集し、これを主宰する。

５　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

（会員連絡会）

第８条　会員の意見をコミッションの事業に反映するとともに、スポーツコミッションについての知識を深め、具体的な取組方法等の情報を共有するため、会員連絡会を開催する。

（会長の専決処分）

第９条　会長は、推進本部等を招集する暇がないとき、その議決すべき事項を専決処分することができる。

（事務局）

第１０条　事務局は山形県観光文化スポーツ部スポーツ振興・地域活性化推進課及び公益社団法人山形県スポーツ振興２１世紀協会（以下「協会」という。）が担い、事務所は協会に置く。

（その他）

第１１条　この規約に定めるもののほか、コミッションの運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、平成３０年１０月２２日から施行する。

別表　1

役職名	委員等にあてる職
会　長	山形県観光文化スポーツ部長
委　員	山形県スポーツ協会理事長
同　上	山形県レクリエーション協会会長
同　上	山形県商工会議所連合会会長
同　上	山形県商工会連合会会長
同　上	山形県観光物産協会会長

別表２

役職名	運営委員等にあてる職
委 員 長	山形県観光文化スポーツ部次長
副委員長	山形県スポーツ振興２１世紀協会常務理事
委　　員	山形県教育庁教育次長
同　　上	山形県スポーツ協会専務理事
同　　上	山形県レクリエーション協会理事長
同　　上	山形県商工会議所連合会幹事
同　　上	山形県商工会連合会参事
同　　上	山形県観光物産協会常務理事

会員一覧（令和3年2月末現在）

行政機関	山形市 ／ 寒河江市 ／ 上山市 ／ 村山市 ／ 天童市 ／ 東根市 ／ 尾花沢市 ／ 山辺町 ／ 中山町 ／ 河北町 ／ 西川町 ／ 朝日町 ／ 大江町 ／ 大石田町 ／ 新庄市 ／ 金山町 ／ 最上町 ／ 舟形町 ／ 真室川町 ／ 大蔵村 ／ 鮭川村 ／ 戸沢村 ／ 米沢市 ／ 長井市 ／ 南陽市 ／ 高畠町 ／ 川西町 ／ 小国町 ／ 白鷹町 ／ 飯豊町 ／ 鶴岡市 ／ 酒田市 ／ 三川町 ／ 庄内町 ／ 遊佐町
スポーツ団体	山形県スポーツ協会 ／ 山形県アイスホッケー連盟 ／ 山形県スケート連盟 ／ 山形県スキー連盟 ／ 山形県水泳連盟 ／ 山形県テニス協会 ／ 山形県ホッケー協会 ／ 山形県ボクシング連盟 ／ (一社)山形県バレーボール協会 ／ 山形県体操協会 ／ 山形県バスケットボール協会 ／ 山形県自転車競技連盟 ／ 山形県卓球協会 ／ 山形県馬術連盟 ／ 山形県フェンシング協会 ／ 山形県柔道連盟 ／ 山形県弓道連盟 ／ 山形県ライフル射撃協会 ／ 山形県剣道連盟 ／ 山形県ラグビーフットボール協会 ／ 山形県アーチェリー協会 ／ 山形県空手道連盟 ／ 山形県クレー射撃協会 ／ 山形県なぎなた連盟 ／ 山形県ボウリング連盟 ／ 山形県ゴルフ連盟 ／ 山形県少林寺拳法連盟 ／ 山形県ゲートボール協会 ／ 山形県バイアスロン連合 ／ 山形県エアロビック協会 ／ 山形県ダンス連盟 ／ 山形県バウンドテニス協会 ／ 山形県スポーツチャンバラ協会 ／ 山形県グラウンド･ゴルフ協会 ／ 山形県テコンドー協会 ／ 山形県キックボクシング連盟 ／ 山形県レクリエーション協会 ／ 山形県障がい者スポーツ協会 ／ 山形県インディアカ協会
プロスポーツ団体	株式会社モンテディオ山形 ／ 株式会社プレステージ・インターナショナル ／ 株式会社パスラボ
観光関係団体	公益社団法人山形県観光物産協会
経済団体	山形県中小企業団体中央会 ／ 山形県商工会議所連合会 ／ 山形県商工会連合会
地元メディア	株式会社山形テレビ ／ 株式会社テレビユー山形 ／ 株式会社さくらんぼテレビジョン ／ 株式会社エフエム山形 ／ NHK 山形放送局 ／ 株式会社米澤新聞社 ／ 株式会社 荘内日報社
大学	国立大学法人山形大学 ／ 公立大学法人山形県立保健医療大学 ／ 山形県公立大学法人山形県立米沢栄養大学 ／ 学校法人東北芸術工科大学 ／ 学校法人東北公益文化大学 ／ 学校法人富澤学園東北文教大学
農業団体	山形県農業協同組合中央会
医療関係団体	一般社団法人山形県医師会 ／ 公益社団法人山形県栄養士会 ／ 一般社団法人山形県歯科医師会 ／ 一般社団法人山形県薬剤師会

資　　料　　集

資料　1

山形県スポーツコミッションキックオフミーティング記念講演

「スポーツを活かした地域の活性化とは」

講師　一般財団法人日本スポーツコミッション
理事長　木　田　　悟　氏

プロフィール

静岡県出身。日本大学理工学部建築学科を卒業後、都市計画コンサルタントを経て財務省所管のシンクタンクに入所。都市計画から国土政策にかかわる調査研究に従事し、2009 年に退所。2009 年２月から東京大学共同研究員（2018 年３月まで）。2009 年５月に（一財）日本スポーツコミッションを立ち上げ現職。2011 年に「地域におけるスポーツイベントの社会的効果に関する研究」で学位（工学）取得。主たる編著書に『スポーツで地域をつくる』、『スポーツで地域を拓く』（2007.7、2013.7、東大出版会）、最新著書として『スポーツで地域を輝かす』（2018.3、マッセ OSAKA 研究既往 21 号 PP12-30）などがある。過去に山形県及び最上町の地域づくりアドバイザー（1994 年度）、静岡県スポーツ推進審議会委員（2016 年８月～2018 年７月）等を経験。現在、一級建築士、日本大学理工学部建築学科講師、内閣府地域活性化伝道師、佐野市スポーツ推進審議会委員を兼ねる。東京都・埼玉県・三重県をはじめ国内各自治体及び海外等で「スポーツを活かした地域の活性化」に関する講演を実施中。

「スポーツを活かした地域の活性化とは」

〇はじめに

Ⅰ．なぜ、スポーツを活かした地域の活性化なのか

１．スポーツとは

２．わが国のスポーツとは

Ⅱ．スポーツイベントとその効果

１．スポーツイベント開催の経緯

２．これまでの効果の捉え方

３．今後のスポーツイベント開催による効果の捉え方

Ⅲ．わが国におけるスポーツコミッションとは

１．スポーツコミッションとは

２．わが国におけるスポーツコミッションのあり方

３．スポーツコミッションの構成及び機能

４．スポーツコミッションの先進的事例

Ⅳ．スポーツを活かした地域の活性化とは

１．地域の活性化とは

２．地域のスポーツタイプ区分と効果

３．国際的スポーツイベントと地域の活性化

Ⅴ．スポーツを活かした地域活性化の事例

１．ボランティア組織等による活動事例

２．スポーツコミッションによる活動事例

〇　今後に向けて

資料　２－１

2018 年山形県スポーツコミッション体制整備委員会トライアル事業（ＮＴＴ東日本野球部地域貢献活動受入）実施報告書

1. 事業実施目的

「山形県スポーツコミッション体制整備委員会」が、県外からの誘致・受入れノウハウを蓄積するためのトライアル事業として、ＮＴＴ東日本野球部（H29 年第 88 回都市対抗野球大会優勝、H30 年第 89 回大会ベスト８チーム）を誘致・受入れするもの。

「ＮＴＴ東日本野球部」は、社会貢献活動の一環として、県内高校生を対象に野球教室及び都市対抗野球に 2 年連続（H28、29）出場した「きらやか銀行野球部」との強化試合を実施する。

2. 事業概要

① 実施期間　平成 30 年 8 月 1 日（水）～　8 月 3 日（金）

② 主　　催　山形県スポーツコミッション体制整備委員会
（事務局：山形県、公益社団法人山形県スポーツ振興 21 世紀協会）

③ 協　　力　ＮＴＴ東日本野球部　選手 23 名、スタッフ 7 名　計 30 名
きらやか銀行野球部、山形県野球連盟
山形県高校野球連盟　3 日間で計 20 高校　延べ 297 名の生徒が参加

④ 会　　場　荘内銀行・日新製薬スタジアムやまがた（中山町）

3. 日程

8／1（水）ＡＭ　ＮＴＴ東日本野球部　来県
ＰＭ　ＮＴＴ東日本野球部による山形県内高校野球部に対する野球教室を実施
（以下、「野球教室」）

8／2（木）ＡＭ　野球教室
ＰＭ　ＮＴＴ東日本野球部　対　きらやか銀行野球部　強化試合

8／3（金）ＡＭ　野球教室
ＰＭ　ＮＴＴ東日本野球部　離県

4. スポーツコミッションとしての主な対応

〇事前手続き・経費負担

協力機関との調整、野球場借上げ・経費負担、審判員等派遣経費負担、県内移動経費負担（バス借上げ）、昼食（弁当）経費負担

〇チームへの記念品贈呈（副知事からＮＴＴ東日本野球部へ雪若丸 30 kg を贈呈）

5. 事業詳細

■１日目（８月１日・水）天候：晴れ／気温 36℃

１４：００～１６：００　野球教室

参加校（4 校）：山形商業、寒河江工業、創学館、山形明正　計 83 名

① ＮＴＴ東日本野球部と高校生との合同守備練習

守備位置に NTT 東日本野球部選手と各校１名ずつつき、ＮＴＴ東日本野球部コーチによるシートノックを受け、捕球や送球等の練習を行った。高校球児は NTT 東日本選手から直接指導を受けたり、社会人選手の捕球技術、肩の強さなど素晴らしい技術・スピード感を間近に体感することができた。

② 守備位置毎の講習

投手は第 2 球場、捕手・内野手・外野手は本球場にそれぞれ分かれ、投手はフィールディングの基本や牽制など、捕手はスローイングやブロッキングの仕方、内野手はゴロ捕球、バント処理、セカンド併殺など、外野手はフライ捕球など、ポジション毎の基本動作の反復練習をＮＴＴ東日本の選手に教わりながら行った。

③ 打撃練習、ピッチング練習

打撃投手はＮＴＴ東日本の選手が行い、打撃捕手は高校生捕手が交代で行った。打撃練習中の守備はＮＴＴ東日本と高校生が実際の打球を一緒に処理をした。

TEE バッティングなどを行い、高校生は直接ＮＴＴ東日本の選手に質問等しながら技術の習得に励んでいた。また、投手陣は室内練習場にて、ＮＴＴ東日本の選手の投球を間近で見学しスピードの違いやコントロールの正確さ投球フォームなどレベルの高さに驚きながらも熱心に見学していた。

ＮＴＴ東日本野球部 歓迎スコアボード

野球場入口

合同守備練習

真剣な眼差しで見学する高校生

守備練習（サード）

打撃練習

キャッチボール（基本が大事）

ピッチング練習見学

牽制の仕方を教わる

キャッチング練習

１日目閉会式

お礼の言葉（山形商業高校生徒）

■２日目（８月２日・木）天候：晴れ／気温 34℃
９：００～１１：００　野球教室
参加校（７校）：山形中央、上山明新館、天童、米沢商業、長井、長井工業、酒田西　計 110 名

①　合同守備練習　②　守備位置毎の講習　③打撃練習、ピッチング練習等

守備練習

ＮＴＴ東日本の選手にアドバイスをもらいながら送球練習

打撃練習見学

２日目 お礼の言葉（長井工業高校生徒）

１３：００～１５：３０　強化試合（ＮＴＴ東日本　対　きらやか銀行）
１４－５でＮＴＴ東日本が勝利

・　試合前セレモニーで副知事からＮＴＴ東日本へ「雪若丸 30kg」を贈呈。
・　両チームの好意により、高校生が試合中のベンチに入る機会を設けることができ、選手たちの試合に臨む雰囲気や準備の仕方、効果的な声掛けやどんな指示を出しているのかベンチワークを教わることができた。
・　ボールボーイや給水係、ファールボール対応などについては、高校生から協力をいただいた。

スターティングメンバーの発表

副知事よりＮＴＴ東日本 伊藤副主将へ雪若丸贈呈

両チーム記念撮影

社会人野球のレベルの高さを体感！

迫力あるピッチング

駆け引きが繰り広げられた牽制

サポートしながら間近で選手の動きを研究する高校生

高校生も一丸となって声援をおくる

高校生もベンチに入りベンチーワークに励む

両チームありがとうございました

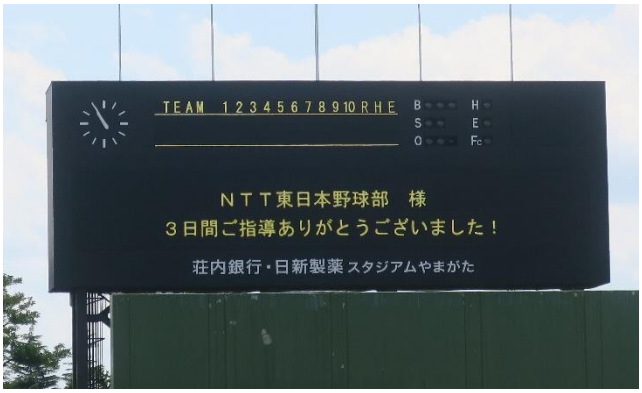
■３日目（８月３日・金）天候：晴れ／気温 34℃
９：００～１１：００　野球教室
参加校(９校)：山形工業、谷地、山本学園、新庄北、新庄南、新庄神室産業、南陽、高畠、東海大山形
計 104 名

①　合同守備練習　②　守備位置毎の講習　③打撃練習等

ＮＴＴ東日本コーチから直接ノックを受ける

直接アドバイスをもらいながら守備練習

最終日　お礼の言葉（新庄神室産業高校生徒）



３日間ご指導ありがとうございました！

6. 総括

・　今回のトライアル事業は、NTT 東日本野球部（CSR 活動の一環)、きらやか銀行野球部及び県高等学校野球連盟の全面的な協力を得て、実施することが出来た。
・　強化試合では、県野球連盟から審判員の派遣等協力をいただき、円滑な試合運営をすることができた。
・　社会人都市対抗野球大会優勝経験のある NTT 東日本野球部という社会人野球最高レベルのチームから直接指導を受けることができる機会であり、３日間で計 20 高校　延べ 297 名の生徒が参加した。
・　２年連続で都市対抗野球大会に出場したきらやか銀行との強化試合も行い、高校生が社会人野球のベンチの雰囲気を体験できる機会を設けることが出来た。
・　NTT 東日本野球部をはじめ今回ご協力いただいた方から次年度以降の継続実施希望という御意見もいただいた。また、社会人最高レベルのチームの来県であり、中学生などより幅広く体験いただくことや最高レベルの試合を多くの人に観戦いただく工夫なども必要との意見もいただいた。
・　今回の事業の効果、費用負担等を検証し、今後のスポーツコミッション事業の実施にいかしていく。

資料　2-2

２０１９山形県スポーツコミッション　トライアル事業
（ＮＴＴ東日本野球部地域貢献活動）実施報告書

1．事業実施目的

「山形県スポーツコミッション」が、県外からの誘致・受入れやスポーツイベントのノウハウを蓄積するためのトライアル事業として、NTT 東日本野球部（H29 年第 88 回都市対抗野球大会優勝、都市対抗野球 4 年連続 43 回出場）の協力をいただき実施するもの。

2．事業概要

「NTT 東日本野球部」が、地域貢献活動の一環として、県内高校生や小中学生を対象に野球教室及び今年の都市対抗野球に出場した「きらやか銀行野球部」との強化試合等を実施するとともに、野球体験コーナーやホームランマルシェ等を開催。

① 実施期間　令和元年 8 月 2 日（金）～　8 月 4 日（日）
② 主　　催　山形県スポーツコミッション
　　（事務局：山形県、公益社団法人山形県スポーツ振興 21 世紀協会）
③ 協　　力　NTT 東日本野球部（選手 30 名、スタッフ 7 名　計 37 名）
　　きらやか銀行野球部、山形県野球連盟、山形県高校野球連盟、
　　山形県中学校体育連盟軟式野球部会、日本ティーボール協会山形県連盟、
　　山形県野球スポーツ少年団協議会、株式会社楽天野球団、青山建設株式会社

3．日程

8/1（金）　PM　NTT 東日本野球部による山形県内高校野球部を対象とした野球教室
8/2（土）　AM　NTT 東日本野球部　対　きらやか銀行野球部　強化試合
　　PM　NTT 東日本野球部による山形県内小中学生を対象とした野球教室
　　NTT 東日本野球部トレーナーによる講習会
　　楽天イーグルスによる未就学児～小学 3 年生を対象とした野球教室
　　その他（T ボール体験、遊具コーナー設置、ホームランマルシェ）
8/3（日）　AM　NTT 東日本野球部による山形県内高校野球部を対象とした野球教室

4．スポーツコミッションとしての主な対応

○事前手続き・経費負担
　協力関係者との調整、野球場借上げ・経費負担、審判員等派遣経費負担、県内移動経費負担（バス借上げ)、昼食（弁当）経費負担
○チームへの記念品贈呈
　山形県県民文化スポーツ課 森谷課長から NTT 東日本野球部へ雪若丸 30 kgを贈呈。
○当日の運営等

5．事業詳細

■１日目（８月２日・金）天候：晴れ ／ 気温 34℃

ＮＴＴ東日本野球部による高校生を対象とした野球教室　１４：００～１６：００

参加校（８校）：山形東、山形商業、上山明新館、米沢東、高畠、村山産業、新庄北、東海大山形　計 79 名

① 合同守備練習

NTT 東日本野球部の選手より捕球や送球動作などのレクチャーを受けた後、守備位置に NTT 東日本野球部選手と各高校１名ずつがつき、NTT 東日本野球部コーチによるシートノックによる実践練習を行った。高校球児は、社会人の捕球技術や体の使い方、肩の強さ、スピード感などを間近で体感することができた。

② 守備位置別の講習

投手、捕手、内野手、外野手とそれぞれに分かれ、投手は投球フォームの確認やフィールディングの基本練習、捕手は捕球の際の体の使い方、内野手はゴロ捕球、バント処理、セカンド併殺、外野手はフライ捕球など、ポジション毎の基本動作の反復練習を NTT 東日本野球部の選手に教わりながら行った。

③ 打撃練習、ピッチング練習

打撃投手は NTT 東日本の選手が行い、打撃捕手は高校生捕手が交代で行った。打撃練習中の守備は NTT 東日本と高校生が実際の打球を一緒に処理をした。

ティーバッティング指導では、高校生は直接 NTT 東日本の選手に質問をしながら技術の習得に励んでいた。

また、投手陣は室内練習場にて、NTT 東日本の選手の投球を間近で見学し、スピードの違いやコントロールの正確さなどのレベルの高さに驚いていた。実際に、投球フォームなどを指導してもらいながら練習に励んだ。

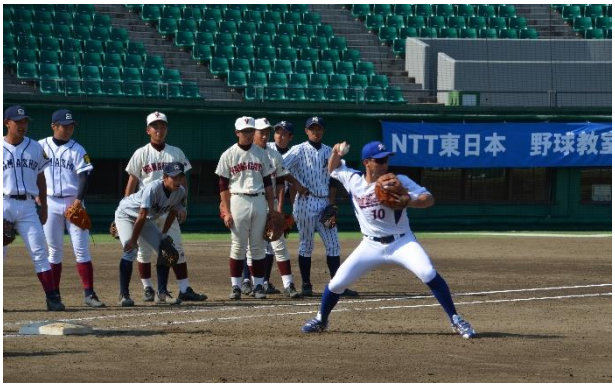
開会式

NTT 東日本野球部 飯塚監督のあいさつ

捕球動作のレクチャー

合同守備練習

投球フォームの確認



フィールディングの基本練習

捕球の際の体の使い方をレクチャー

ティーバッティング指導

バントの構えを教わる

１日目閉会式 お礼の言葉（山形商業高校生徒）

■２日目（８月３日・土）天候：晴れ ／ 気温 34℃
１０：００～１３：００　**強化試合（NTT 東日本　対　きらやか銀行）**
参加校（５校）：天童、南陽、酒田光陵、酒田西、上山明新館　計 37 名

８－３で、きらやか銀行が勝利
・試合前セレモニーで、山形県県民文化スポーツ課長より NTT 東日本野球部へ「雪若丸 30 kg」を贈呈。
・今回から、始球式を実施。投手と捕手を小学生(中山ジュニア野球スポーツ少年団)が務め、見事なピッチングとキャッチングを見せてくれた。
・両チームの好意により、高校生が試合中のベンチに入る機会を設けることができ、選手たちの試合に臨む雰囲気や準備の仕方、戦略等間近でベンチワークを教わることができた。
・道具準備やボールボーイ、給水係などについては、高校生から協力をいただいた。
・外野芝生席を解放し、自由に観戦してもらえるようにした。

両チームで記念撮影

山形県より雪若丸 30 kg贈呈

小学生による始球式

プレイボール！

高校生も一丸となって声援をおくる

迫力のあるピッチング

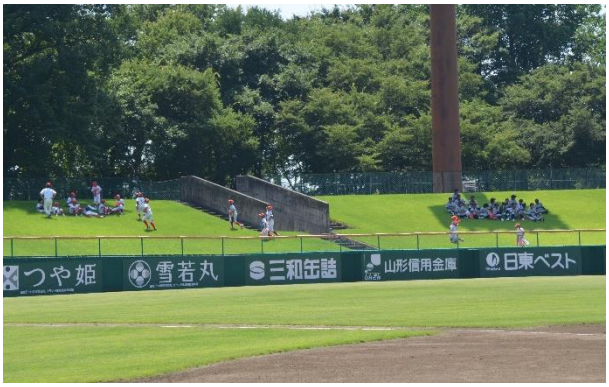
ベースへ全力疾走！

サポートしながら選手の動きを研究する高校生

高校生も一緒にベンチ入り

ベンチワークを学ぶ

外野芝生を解放！



芝生に寝転がりながら楽しく観戦

社会人のレベルの高さを体感

試合終了！ありがとうございました！

ＮＴＴ東日本野球部による小中学生を対象とした野球教室　１３：３０～１５：３０

会　場：荘内銀行・日新製薬スタジアムやまがた 本球場

対象者：小学４～６年生、中学生　　計 113 名

・野球スポーツ少年団、中学校野球部、ボーイズリーグチームなどが参加し NTT 東日本の選手とのウォーミングアップ後、各ポジションに分かれ選手とキャッチボールやティーバッティング、外野に向かって打つロングティーなど NTT 東日本の選手から丁寧に指導していただいた。

選手と一緒にウォーミングアップ

選手からの説明を真剣に聞く子どもたち

外野に向かって打つロングティー

最後は全員で集合写真

NTT 東日本野球部トレーナーによる講習会　１４：００～１５：００

会　場：本球場内会議室

対象者：高校生、指導者、保護者 等

・NTT 東日本野球部の金トレーナーからケガの予防やストレッチ等について実技も交えながら講義していただいた。

金トレーナーによるケアグッズの紹介

高校生の質問に実技も交えながら指導

楽天イーグルス野球教室　１０：００～１１：００

会　場：運動広場

対象者：未就学児～小学３年生（親子参加型）　計 25 名

指導者：楽天イーグルスアカデミーコーチ

聖澤涼コーチ（元楽天イーグルス選手）

石田悠紀子コーチ（元侍ジャパン女子選手）

・楽天イーグルスアカデミーコーチ陣による野球未経験者かつ親子参加型野球教室を実施。

・遊びを交えながらのウォーミングアップやＴボールによるミニゲームを行った。

・野球教室後は、強化試合の観戦も並行して実施した。

親子で野球を楽しもう！

聖澤コーチからレクチャーを受ける子どもたち

Ｔボール体験　１０:００～１１:００

遊具コーナー（楽天イーグルス ふわふわドーム、ストラックアウト）　１０:００～１５:００

ホームランマルシェ（飲食、ハンドメイドショップなどのブース）　１０:００～１５:００

・強化試合や野球教室など、より多くの方々に観戦、参加して頂くため各種イベントを実施。
野球に触れ合いながら､来て見て体験できる楽しいイベントづくりを心掛けた。

子どもたちに人気だったふわふわドーム

Ｔボール体験コーナー

■８月４日（日）天候：晴れ ／ 気温 34℃

ＮＴＴ東日本野球部による高校生を対象とした野球教室　９：００～１１：００

参加校（８校）：山形工業、寒河江、谷地、米沢商業、長井、新庄神室産業、東桜学館、
東海大山形　計 117 名

①　合同守備練習　②　守備位置別の練習　③　打撃練習、ピッチング練習

ピッチング練習

打撃練習

選手の説明を真剣に聞く高校生

３日目閉会式　お礼の言葉（山形工業高校生徒）

6．総括

・　今回のトライアル事業は、NTT 東日本野球部（CSR 活動の一環）、きらやか銀行野球部及び県野球連盟、県高校野球連盟等の全面的な協力を得て、実施することができた。

・　強化試合では、県野球連盟から審判員の派遣等協力いただき、円滑な試合運営をすることができた。

・　社会人都市対抗野球大会優勝経験のある NTT 東日本野球部という社会人野球最高レベルのチームから直接指導を受けることができる機会であり、３日間で小中高校生を合わせると述べ人数 346 名 の生徒が参加した。なお、小中学生の野球教室は今回から実施した。

・　今年の都市対抗野球大会に出場しているきらやか銀行との強化試合では、高校生が選手と一緒のベンチに入り社会人野球の雰囲気を体験できる機会を設けることが出来た。

・　今回から、スポーツイベントの性格をもたせ幅広い年代の方に野球を体験し、楽しんでいただく為、T ボール体験や親子参加型野球教室など新たに実施した。また、野球体験コーナーや飲食ブース、子どもが遊べる遊具等を用意し会場を盛りあげる工夫をした。

・　今回の事業の効果、費用負担等を検証し、今後のスポーツコミッション事業の実施に活かしていく。

資料　3－1

平成 30 年度研修会資料

スポーツツーリズムによる地域の活性化について

講師　順天堂大学先任准教授　工藤　康宏　氏

プロフィール

順天堂大学スポーツ健康科学部　先任准教授

1968 年に山形県村山市に生まれる。山形南高等学校、鹿屋体育大学、同大学院を修了後、東京 YMCA、東海学園大学、神奈川大学を経て 2011 年４月より現職。まちづくりや地域社会とスポーツを研究テーマとしており、日本におけるスポーツツーリズム研究のパイオニアの一人で、日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）会員。

主な著書に、スポーツ・ツーリズム・ハンドブック（共著）、スポーツ産業論入門（共著）、スポーツ白書（共著）などがある。

1．スポーツツーリズムの広がり

- スポーツツーリズム（sport tourism）の概念
  - スポーツ参加、観戦や応援を主目的とした旅行
    （その旅行を実施する旅行者 → スポーツ･ツーリスト）
  - このような旅行を、提供する側も含めて考える
  - 健康や治療、療養などを目的に旅行することを「ヘルスツーリズム」と呼び、スポーツツーリズムとは関連深い
  - スポーツイベントでボランティアをするために旅行するなどの「ボランティアツーリズム」もある

観光庁のスポーツツーリズムの定義

–スポーツ資源とツーリズムとの融合を図っていく取り組み

であり、スポーツを「観る」「する」ための旅行そのものや周辺地域観光に加え、スポーツを「支える」人々との交流、あるいは生涯スポーツの観点からビジネスなどの多目的での旅行者に対し、旅行先の地域でも主体的にスポーツに親しむことのできる環境の整備、そしてMICE推進の要となる国際競技大会の招致・開催、合宿の招致も包含した、複合的でこれまでにない「豊かな旅行スタイルの創造」を目指すもの。

観光庁スポーツツーリズム推進基本方針（2011）

工藤康宏 ykudou@juntendo.ac.jp

スポーツツーリズムとヘルスツーリズム

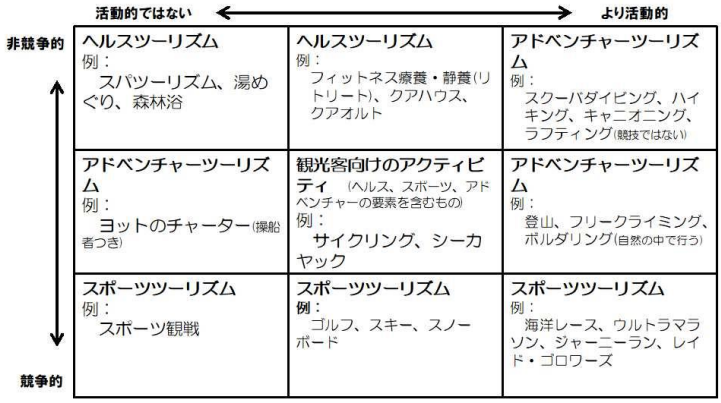


図 . Hall(1992)のアドベンチャー・ヘルス・スポーツツーリズムのモデル
Hall, C. M.: Adventure, Sport and Health Tourism, in: Weiler, B. and Hall, C. M. (Eds) Special Interest Tourism. Belhaven Press. London. 1992. 142.
を著者加筆・改変

スポーツ・ツーリズムが注目される背景

- スポーツ参加(関与)行動のより詳しい理解
- 経済的インパクトが期待
- メガ・スポーツ・イベントの開催
- 異文化交流や理解、世界平和への貢献など、多様な期待
- スポーツが良質な観光資源になる可能性

スポーツツーリズムにできること

観光推進
- インバウンドツーリズムの拡大
- 地域の交流・滞留人口の増大

地域社会
- 地域経済への好影響
  - 交流・滞留人口の増大
- 優良な集客装置・観光資源
- 知名度向上・地域ブランドづくり
- 住民の交流促進

効果と影響
- メリットもあればデメリットも
  - 例：キャパシティ（人、ゴミ、車）
  - ディスティネーションイメージ、地域への愛着の醸成
- **戦略的、長期的な取り組み**

地域におけるスポーツイベントや スポーツ合宿の効果

スポーツイベント スポーツ合宿

社会的効果
- 地域のイメージ・知名度向上
- 住民のモラル向上
- 開催期間中の犯罪発生率低下
- ソーシャルキャピタル醸成

など

経済的効果
- 地域内の宿泊、交通および商店・飲食店の収入増
- 観光・建設・運輸・通信業全体への波及効果
- 法人税収

など

個人的効果
- 健康維持、スポーツの実施
- 地域に対する愛着
- スポーツへの興味関心
- ソーシャルキャピタル醸成

など

スポーツツーリストの特徴

- スポーツ参加／観戦（応援）重視型
  - 倹約志向
  - 興味はあるが観光はしない

風のように現れて、
風のように去っていく
滞在や観光に結びつく『しかけ』が必要

- 複合型（参加／観戦と行先地の特徴を重視）
  - せっかく行くなら
  - 温泉、郷土料理、地酒、お土産
  - 観光に積極的
  - 同伴者あり

地域の魅力、観光資源のPR
常連化にどう結び付けるか、が必要

工藤,2006

スポーツツーリストとは？

- スポーツツーリスト？スポーツ参加者？

ツーリスト	スポーツ参加者	スポーツツーリストは？

• 目的地の観光が主目的
• 観光活動に積極的
• 特選品などお土産の購入
• 郷土料理・地酒を楽しむ
• 宿泊を伴う（ホテル、民宿、他）
	• スポーツ参加が主目的
	• 観光、お土産、食に興味あり
	• 宿泊を伴う場合あり
	• 倹約志向が多い
		• 参加志向タイプ（倹約）
		  • 宿泊は自分の車
		  • 食事はコンビニやスーパー or 自炊
		  • マラソンイベントなどでは、走り終わったら渋滞を避けてすぐに帰宅
		• 参加/開催地志向タイプ

- スポーツ参加行動の延長上？
  - スポーツ参加者は「どこに旅行しようか？」ではなく、 スポーツに参加するために旅行という形態を取るとも考えられる
- マーケティングの必要性
- スポーツを活用した地域活性化
  - 推進組織：スポーツコミッション

北米のスポーツコミッション

- 事業が多彩
  - プロフェッショナルスポーツ～アマチュアスポーツ
  - スポーツイベント
  - スポーツコンプレックス、施設の管理運営
  - ステークホルダーとの連携
    - コンベンション＆ビジターズ・ビューロー、レストラン、宿泊事業所、行政団体　他
  - 住民のスポーツ、レクリエーション振興
- 財　源
  - 州の補助金と税金の一部、スポンサー、事業収入、会費
- 長期的な事業戦略
  - 持続可能な事業計画、目標の設定、評価・実施（PDCA）
- ビジョナリー（先見性、明確なビジョン）な組織
  - スポーツを通じて、地域のためになることを行う

推進組織

- スポーツ振興課
- 教育委員会
- 都市計画課
- 観光課
- 観光協会
- 商工会議所

- スポーツ・コミッション
- コンベンション・ビジターズ・ビューロー（CVBs）
- Destination Marketing Company
- **Destination Management Organization**

地域におけるスポーツ振興の効率化とビジター（訪問者）を中心とした交流人口の増加を目指す取り組み

スポーツ・コミッション

- スポーツツーリズム推進や住民のスポーツ振興のための連携組織（プラットフォーム）
- DMO　Destination Management Organization.
- 地域の訪問者という発想　→交流／滞留人口増加
  - スポーツ、ビジネス問わず
- 北米のスポーツコミッションやCVBsがモデル

スポーツとツーリズムに関連する権限と財源が一元化された推進組織による、戦略的な

『スポーツによるまちづくり・都市経営』

スポーツツーリズム振興の課題

- スポーツツーリズム‘信仰’？
  - スポーツツーリズムは万能ではない
  - 長期的戦略やビジョンの必要性
- 日常のスポーツ振興とのバランス
  - スポーツへの公的資金導入の是非
  - 住民のスポーツ環境は？
- 地域住民のQOL
  - 地域のキャパシティ
    - 混雑、交通、ゴミ、雇用

1.講師
2.会社概要
3.合宿誘致 受け入れ
4.イベント実施に向けた様々な準備

1．講師

君川　聖（担当）
・プロモーション事業（PR事業含）
・MD事業（グッズの企画・製造・販売管理）
「ライオン薬品事業本部」：パフォリン（鎮痛・解熱薬）の流通向けキャンペーンの年間企画、ツール製作から全国発送
「シェーファー（アメリカの筆記具ブランド）」：店頭の演出ツール企画、製作
「ティンバーランド（アメリカのアウトドアブランド）」：日本市場向けの全ツールデザインの制作から管理、店頭販促ツールの企画、製作
「コスモ石油」：SS店頭用什器の企画、設計、製作、全国発送
「ブショー」：ショールーム来場促進グッズ、試乗特典グッズ、成約特典グッズの企画、製作
「TIMEX（アメリカ製時計ブランド）」：店頭のＶＩの企画からデザイン、製作、施工
「ゼリア新薬工業」：コンドロイチンの店頭販促ツールの年間企画、デザイン、製作、全国発送/コンドロイチン等の店頭PVの企画、製作
「ダスキンシニアケアプロジェクト」：ダスキンの介護事業の新会社の会社案内、オフィシャルWEBサイト、パンフレット等のツールの企画・デザイン、製作
「PUMA（ジャカー）」：ワールドカップイヤーにおけるプロモーション企画及び実施
「メディセオホールディングス」：新会社ネーミング、ロゴデザイン、アプリケーションデザイン（看板デザイン、会社案内、手掛け袋等）、パッケージデザイン
「内原（SABIRTH）ダイヤモンドブランド」：新ブランドネーミングからロゴ開発、オフィシャルWEB、パンフレット、パッケージ、店舗什器等の企画、製作
「REEBOK TAIKAN」：新ブランドのロゴデザインから販促企画、店頭ツール企画、製作、ラウンダーによる店頭プレゼンス管理
「日本フットサル連盟」：日本フットサル連盟オフィシャルＷＥＢサイトの企画、制作、管理まで
「バルドラール浦安（ドリーグ（日本フットサルリーグ）参加クラブ）」：クラブ運営リポート、スポンサー営業、全製作物の企画製作、グッズの企画製作

会社概要

株式会社スポーツインダストリー

〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町2-1-11 ドルックス茅場町8F

TEL：03-5643-1031
FAX：03-5643-1033

代表取締役　卜田利則

設立　2006年8月1日

業務内容＆提供サービス
Business Contents & Offering Service

■スポーツイベント事業	ゴルフ関係 プロゴルフトーナメント運営協力（男子・女子・シニア） プロアマイベント運営協力 アマチュアゴルフイベント運営 ジュニアゴルフイベント運営 イベント事務局運営など‥ その他 サッカー・フットサル バスケットボール トライアスロン　サイクリング マラソン　などスポーツ全般のイベント運営業務
■マネージメント事業	プロゴルファーのマネージメント （男子プロ）　平塚とも幸 （女子プロ）　土肥功留美　袋井理代　大里桃子
■プロモーション事業	広告、SP、MD等 各種商品アドザイザリー 広告・SP企画制作 各種マーチャンダイジング(MD)業務
■スポーツ業界求人事業	ゴルフ業界求人サイト「GOLF　JOB」運営 ※全国求人情報協会賛助会員
■旅 行 事 業	宿泊・移動手段　手配・管理 スポーツ合宿のコーディネート（プロスポーツチーム、アマチュアチーム等） ゴルフトーナメントに於けるスタッフ宿泊手配・管理 ゴルフツアー全般

業務実績
Business Performance

ゴルフ関係

●プロゴルフトーナメント運営協力（男子・女子・シニア）
・プリヂストン運営試合の運営協力【スタート・アテスト、通訳、フィールド業務】
・トーナメントに於けるボランティア運営（事務局）
※2016年日本女子オープン、2016年日本プロゴルフ選手権
・PGAシニアツアーやJGTOチャレンジ競技・LPGAステップアップツアー・LPGAレジェンズツアーの運営協力
・JGTO業務請負【ドライビングディスタンス、ウィンドスティック、スコアリング】
・LPGA業務請負【ドライビングディスタンス】
・地区オープンの試合運営（千葉オープン、奈良オープン等）

●アマチュアゴルフイベント運営
・ゴルフパートナーアマチュアゴルフ選手権
・プロ野球OBゴルフ選手権（BS日テレ放映）運営協力
・Reginaユーザーイベント運営（Regina Open）
・メルセデスベンツオーナーズカップ運営協力

●ジュニアゴルフイベント運営
・ゴルフ＆サッカー夏休み親子スポーツ合宿（PGA＆JEF千葉共同主催）
・スナッグゴルフ全国大会JGTOカップ運営協力
・高校ゴルフ選手権大会
・全国高等学校ゴルフ選手権　運営協力

●企業系ゴルフイベント運営協力
・アメリカン・エキスプレスコンペ
・バンダイナムコプロアマ運営協力
・ホームズプロアマ他年数試合での女子プロ手配
・Yanase BMW Golf Cup 2017
・マリアナ政府観光局ゴルフイベント

●イベント事務局運営など‥
ゴルフトーナメント事務局運営
・LPGAゴルフトーナメント　Tポイント レディス大会事務局（2010～2017）
・第84回（2016年）日本プロゴルフ選手権大会事務局
アマチュアゴルフイベント事務局
・ALBAトーナメント＆カップ大会事務局
・スナッグゴルフ全国大会事務局
・柏ゴルフフェスタ大会事務局
その他スポーツイベント事務局業務
・九十九里トライアスロン事務局業務
・館山わかしおトライアスロン大会事務局業務

●ボランティア事務局
・ミュゼプラチナオープン（2015）
・日本プロゴルフ選手権大会（2016、2017）
・太平洋クラブチャレンジ（2015～2017）
・PGAシニアツアー　年間５試合程度（2015～2017）
・日本女子オープンゴルフ選手権競技（2016）

業務実績
Business Performance

その他

- ●サッカー・フットサル（大会運営協力）
  - ・ダノンネーションズカップ（FIFA公認、JFA後援、サッカーU-12全国大会）（2012～2017）
  - ・Fリーグ主催 高校生フットサル大会（2012～2013）
  - ・a-nation内（夏の高校生フットサル大会、芸能人女子フットサル大会等）（2013,2014）
- ●バスケットボール
  - ・NBLトヨタ自動車アルバルク東京 ホームゲーム運営
  - ・Bリーグ千葉ジェッツ ホームゲーム運営サポート
- ●トライアスロン
  - ・九十九里トライアスロン運営
  - ・岡山わかしおトライアスロン大会運営
- ●マラソン など スポーツ全般のイベント運営業務
  - ・「さいたまマラソン」広報業務

プロゴルファー マネージメント

- ●男子プロ
  - ・平塚とも幸 （2008～）
- ●女子プロゴルファー
  - ・土肥功留美 （2008～2012） ・大里桃子（2018～）
  - ・袋井理代 （2008～2010）

広告、SP、MD等

- ●各種商品アドバイザリー
  - ・北海道クラシックゴルフクラブ アドバイザー業務
- ●広告・SP企画制作
  - ・広告：ソフトダーツツアー「JAPAN」新聞記事広告等
  - ・マーケティング：キネシオテープの一般流通展開アドバイザー
  - ・ブランディング：タツミプランニング×楠山剣プロジェクト
- ●各種マーチャンダイジング（MD）業務
  - ・2015年日本プロゴルフ選手権大会：八角マーカー、クリップマーカー
  - ・2016年日本プロゴルフ巡手権大会：自社ブース出展にて販売、キャップ、ポロシャツ、カジノマーカー 等
  - ・PGAアカデミー：キャップ、ポロシャツ、グリーンフォーク
  - ・アメリカンエキスプレス：グリーンフォーク、シューズケース、盾
  - ・アディダスジャパン：日本代表グッズ
  - ・スワロフスキージャパン：コラボレーションアイテム（太平洋クラブとのコラボアイテム開発 等）

ゴルフ業界求人サイト『GOLF JOB』運営 ※全国求人情報協会賛助会員

宿泊・移動手段 手配・管理

- ●スポーツ合宿のコーディネート（プロスポーツチーム、アマチュアチーム等）
  - ・高校、大学野球部、社会人チームの遠征、合宿の宿泊手配
  - ・Jリーグクラブチームの遠征、合宿の宿泊手配
  - ・日本ラグビー協会の遠征、合宿の移動、宿泊手配
- ●ゴルトーナメントに於けるスタッフ宿泊手配・管理
  - ・プリデストンスポーツ運営試合のトーナメントスタッフ宿泊手配および名簿管理（2009～）
- ●ゴルフツアー全般
  - ・SONY OPEN ボランティアツアー（2009～2010）

業務記録写真
Business Record Photo

その他

2. 合宿誘致・受け入れについて

2018年　1月29日

株式会社スポーツインダストリー

■ 合宿誘致について

スポーツ合宿誘致については、様々な種目やカテゴリーがあり、受け入れのできる市町村によって得意・不得意な競技種目があると思います。
また、運動施設があっても、それに対応できる宿泊施設（収容人数・食事の対応etc）との連携がないとお客様に満足の頂ける合宿誘致が成り立ちません。

○体育館施設が充実　⇒　バレーボール・バスケットボール・格技等々の屋内種目

3

○野球場が充実（備品類含む/ケージ・ネット・マシン・室内練習場etc）
⇒　硬式野球・軟式野球・ソフトボール等

○天然芝または人工芝の競技場がある(ラグビーポール、ゴール）　⇒　サッカー・ラクロス・ラグビー等

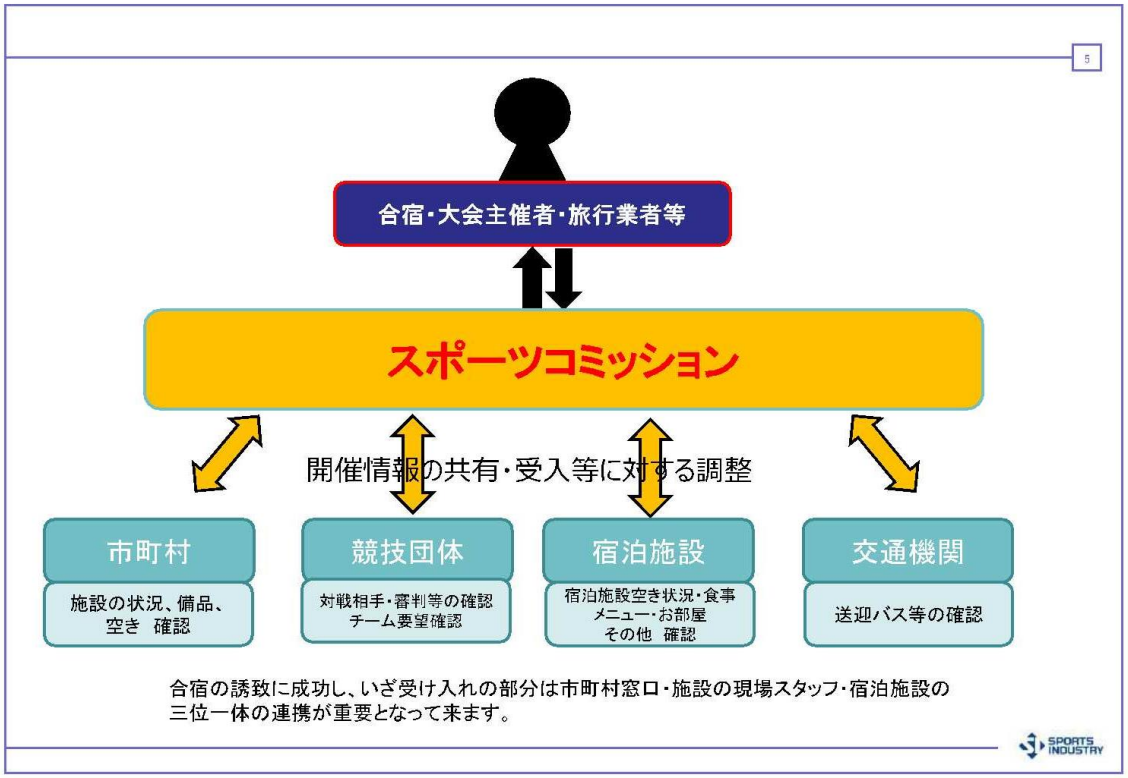
SPORTS INDUSTRY

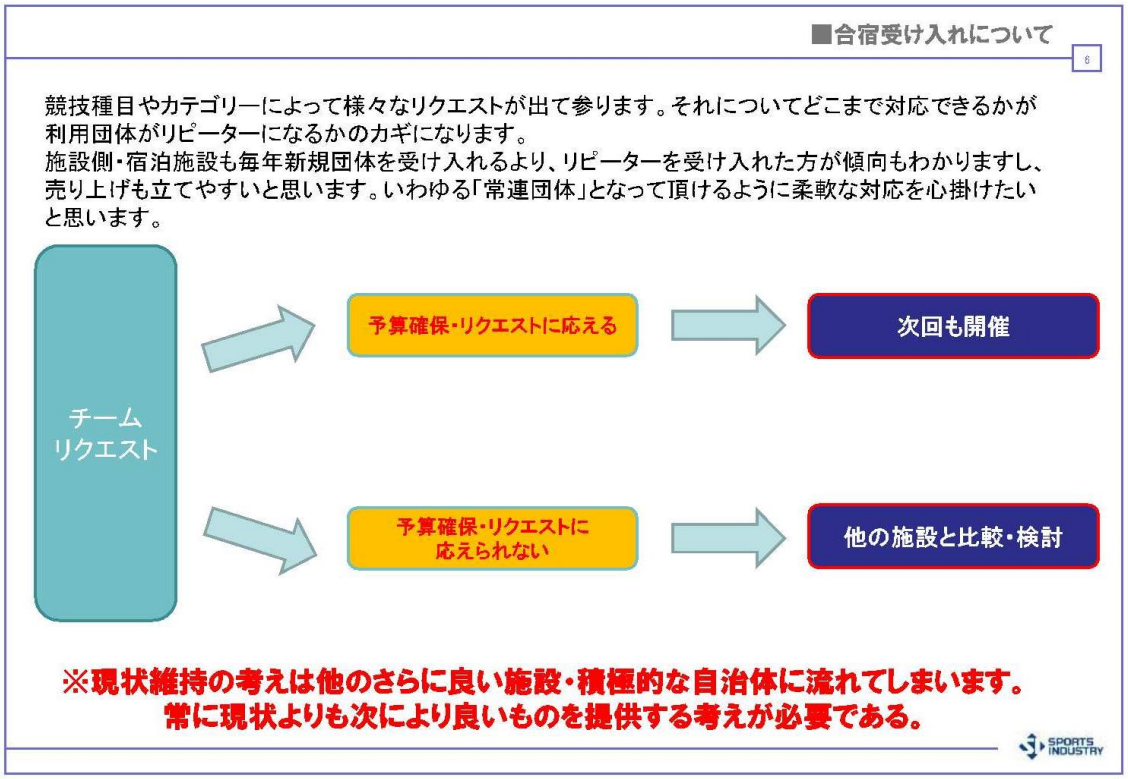
4

具体的にどのように誘致活動を行うか？

旅行代理店・直接競技団体やチームに対しての営業活動・ダイレクトメールなどが挙げられます。
その地域地域の特色を生かしたセールスもインパクトを与えられるのではないかと思います。
（特産品を贈呈する・補助金を出す等々）

SPORTS INDUSTRY


5
合宿・大会主催者・旅行業者等
スポーツコミッション
開催情報の共有・受入等に対する調整
市町村
施設の状況、備品、
空き　確認
競技団体
対戦相手・審判等の確認
チーム要望確認
宿泊施設
宿泊施設空き状況・食事
メニュー・お部屋
その他　確認
交通機関
送迎バス等の確認
合宿の誘致に成功し、いざ受け入れの部分は市町村窓口・施設の現場スタッフ・宿泊施設の
三位一体の連携が重要となって来ます。
SPORTS INDUSTRY


■合宿受け入れについて
6
競技種目やカテゴリーによって様々なリクエストが出て参ります。それについてどこまで対応できるかが
利用団体がリピーターになるかのカギになります。
施設側・宿泊施設も毎年新規団体を受け入れるより、リピーターを受け入れた方が傾向もわかりますし、
売り上げも立てやすいと思います。いわゆる「常連団体」となって頂けるように柔軟な対応を心掛けたい
と思います。
チーム
リクエスト
予算確保・リクエストに応える
次回も開催
予算確保・リクエストに
応えられない
他の施設と比較・検討
※現状維持の考えは他のさらに良い施設・積極的な自治体に流れてしまいます。
常に現状よりも次により良いものを提供する考えが必要である。
SPORTS INDUSTRY

3. イベント実施に向けた様々な準備について

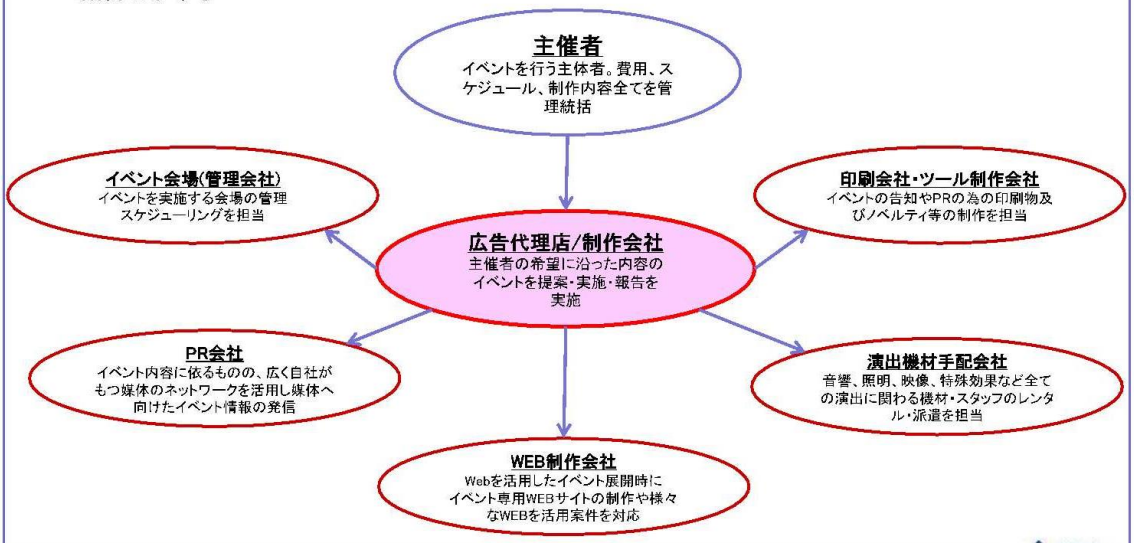
2018年 1月29日

株式会社スポーツインダストリー

■イベントに関わる様々な企業

2

世の中には一口に「イベント」と言っても様々な種類・形態の「イベント」がございます。ここでは代表的な「イベント」を制作する際に関わる様々な企業、そしてそれぞれの役割をご紹介します。



■ イベントスケジュール概略

3

イベントを行うための大まかなスケジュールをご紹介。企画立案→告知→制作という工程の中で様々な細かい調整を経てイベント実施当日を迎えます。

企画・立案	宣伝・告知（PR）	制作	イベント実施
イベントの主旨・目的、当日までのスケジュール、発生する費用を固め効率的、且つ効果的なイベントを実施するための地盤固めを行う	イベント内容を広く認知させその目的達成に向けたPR期間。WEBや各種媒体を活用し、イベントの概要を発信。内容によりイベント参加者を募集する器官としても設定	イベント実施当日に向け様々な関連コンテンツを制作。 また同時にイベント当日のシミュレーションや関連会社との打合せを綿密に行い無駄の無い、効率的・効果的な実施を目指す	様々な準備を重ねて事故の無いイベント成功を目指す

■イベント実施費用イメージ

4

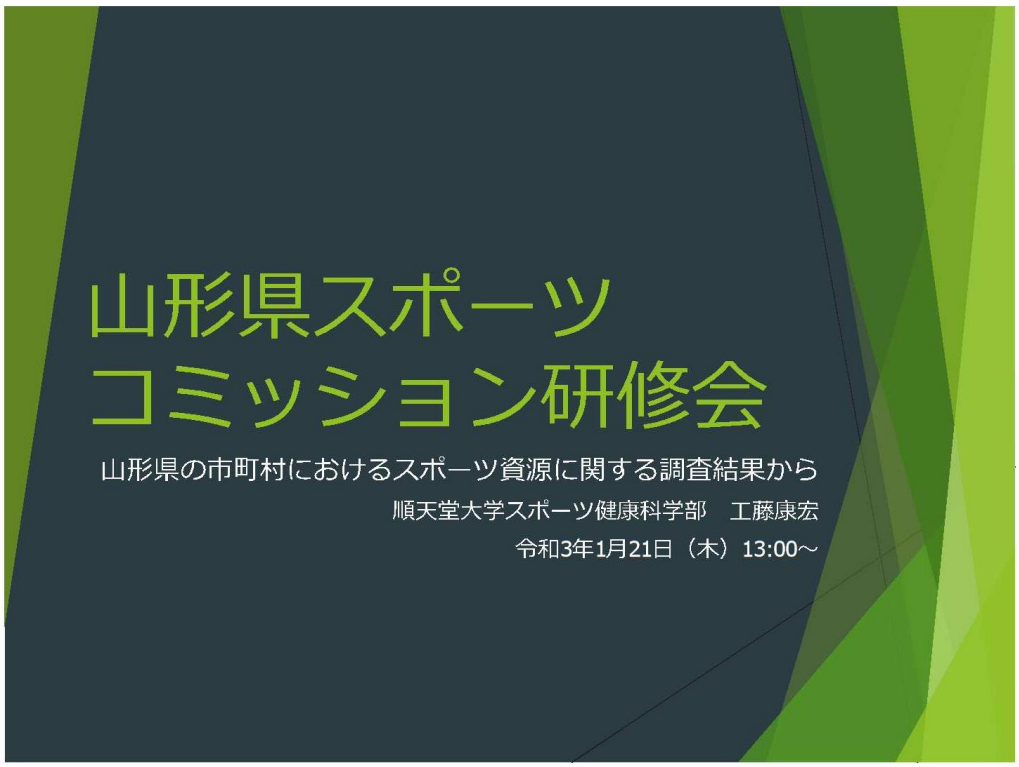
イベント実施には様々な費用が発生します。
低予算での実施から大掛かりなイベントまでその内容・規模により予算感は様々です。

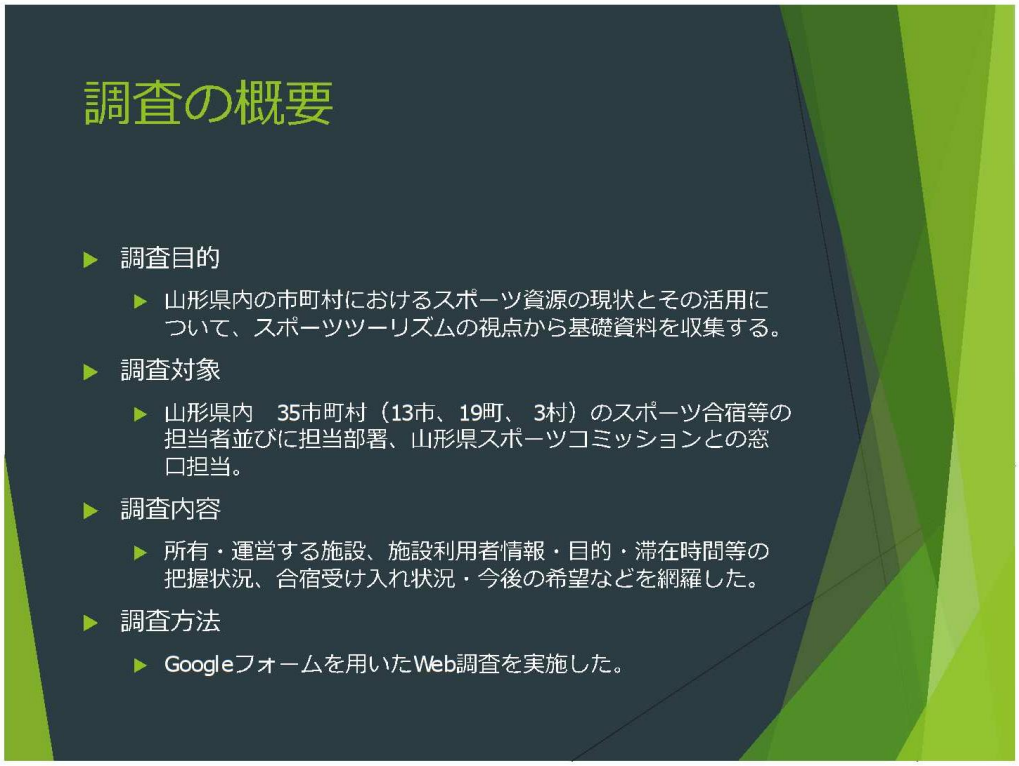
予算：低い → 予算：高い

	約50万円程度～	約150万円程度～	約500万円程度～
会場費	**0円～** 自社・自店舗など 費用が発生しない場合	**20万円～** 日程・内容により変動。安価な レンタルイベントスペースで 実施する場合	**50万円～** 日程・内容により変動 ホテル、イベントホールなど
企画運営費	**20万円～** 企画のみを制作会社に依頼し 実施運営等全て自社で賄う場合	**50万円～** 企画・制作を制作会社に依頼し 実施・運営の一部を自社で賄う場合	**150万円～** 企画・制作を全て制作会社に依頼し 実施当日までの全てを依頼する場合
制作費	**10万円～** 簡易な印刷物程度の制作のみ 行う場合	**50万円～** 制作物・手配物により変動 簡易な機材の手配のみで実施する場合	**200万円～** ある程度のスタッフ、装飾、機材を 使い魅力的なイベントを行う場合
PR費	**20万円～** 告知・PRを全て自社で賄い 簡易なPRツールの制作のみ 行う場合	**30万円～** WEBを使った告知・PRを行い 且つ半分程度自社で賄う場合 システム構築は不可	**100万円～** WEB制作、PR会社などを活用し 広くイベントを告知した場合

資料　３－２

令和２年度研修会資料





調査結果

- 回収数
  - 32市町村（回収率91.4%）

表１．市町村内訳

地域	%	(n)
庄内	12.5	(4)
最上	21.9	(7)
村山	43.8	(14)
置賜	21.9	(7)

表２．担当部署（回答者の所属）

項目	%	(n)
教育委員会	81.3	(26)
役場内部課	18.8	(6)

所有、運営している施設

表３．所有・運営施設（**所有施設別**）

項目	%	(n)
スポーツ施設	28.1	(9)
スポーツ施設／自然資源	3.1	(1)
スポーツ施設・スポーツ施設／自然資源	18.8	(6)
スポーツ施設・自然資源	15.6	(5)
スポーツ施設・スポーツ施設／自然資源・自然資源	34.4	(11)

表４．所有・運営施設（**施設別**）

項目	%	(n)
スポーツ施設	96.9	(31)
スポーツ施設／自然資源	56.3	(18)
自然資源	50.0	(16)

- スポーツ施設
  - 総合運動公園、体育館、陸上競技場、野球場、プール、テニスコート等
- スポーツ施設／自然資源
  - ゴルフ場、スキー場、海水浴場、カヌー・ボート競技施設等
- 自然資源
  - 自然公園、ハイキングコース、トレッキングコース、キャンプ場等

施設利用者情報の把握状況

表５．施設別利用者情報の把握状況（**把握状況別**）

	スポーツ施設		スポーツ施設／自然資源		自然資源	
	%	(n)	%	(n)	%	(n)
市町村内のみ	6.3	(2)	6.3	(2)	0.0	(0)
市町村内～県内	9.4	(3)	9.4	(3)	3.1	(5)
市町村内～県外	53.1	(17)	18.8	(6)	15.6	(2)
市町村内～国外	21.9	(7)	15.6	(5)	6.3	(2)
わからない	3.1	(1)	6.3	(2)	21.9	(7)
無回答（該当しない）	6.3	(2)	56.3	(18)	53.1	(17)

表６．施設別利用者情報の把握状況（**居住地別**）

居住地	スポーツ施設		スポーツ施設／自然資源		自然資源	
	%	(n)	%	(n)	%	(n)
市町村内	90.6	(29)	50.0	(16)	25.0	(8)
市町村外	84.4	(27)	43.8	(14)	25.0	(8)
県外	75.0	(24)	34.4	(11)	21.9	(7)
国外	21.9	(7)	15.6	(5)	6.3	(2)
わからない	6.3	(2)	6.3	(2)	21.9	(7)

- スポーツ施設
  - 総合運動公園、体育館、陸上競技場、野球場、プール、テニスコート等
- スポーツ施設／自然資源
  - ゴルフ場、スキー場、海水浴場、カヌー・ボート競技施設等
- 自然資源
  - 自然公園、ハイキングコース、レッキングコース、キャンプ場等

利用目的の把握状況

表７．利用目的把握状況（**所有施設別**）

項目	%	(n)
スポーツ施設	40.6	(13)
スポーツ施設／自然資源	3.1	(1)
自然資源	3.1	(1)
スポーツ施設・スポーツ施設／自然資源	18.8	(6)
スポーツ施設・自然資源	6.3	(2)
スポーツ施設・スポーツ施設／自然資源・自然資源	3.1	(1)
わからない	25	(8)

表８．利用目的把握状況（**施設別**）

項目	%	(n)
スポーツ施設	68.8	(22)
スポーツ施設／自然資源	25.0	(8)
自然資源	12.5	(4)
わからない	25.0	(8)

- スポーツ施設
  - 概ね把握されている。
  - 種目が限定されることからも把握しやすい。
- スポーツ施設／自然資源
  - 把握状況は思わしくない。
  - 民間施設が多いことが考えられる。
- 自然資源
  - 積極的には把握されていない。
- 把握できていないが１／４

利用時間・期間の把握状況

表９．滞在時間・期間把握状況（**所有施設別**）

項目	%	(n)
スポーツ施設	43.8	(14)
スポーツ施設／自然資源	0.0	(0)
自然資源	0.0	(0)
スポーツ施設・スポーツ施設／自然資源	12.5	(4)
スポーツ施設・自然資源	3.1	(1)
スポーツ施設・スポーツ施設／自然資源・自然資源	3.1	(1)
わからない	37.5	(12)

表10．滞在時間・期間把握状況（**施設別**）

項目	%	(n)
スポーツ施設	62.5	(20)
スポーツ施設／自然資源	15.6	(5)
自然資源	6.3	(2)
わからない	37.5	(12)

- スポーツ施設
  - 概ね把握されている。
  - 種目が限定されることからも把握しやすい。
- スポーツ施設／自然資源
  - 把握状況は思わしくない。
  - 民間施設が多いことが考えられる。
- 自然資源
  - 把握されていない。
- 把握できていないが約4割

合宿受け入れ状況

表11．合宿受け入れ状況

項目	スポーツ合宿		文化・芸術合宿	
	%	(n)	%	(n)
受け入れている	65.6	(21)	28.1	(9)
受け入れていない	25	(8)	50	(16)
わからない	3.1	(1)	15.6	(5)
今後受け入れ予定	6.3	(2)	3.1	(1)
無回答	0	(0)	3.1	(1)

note：一部合宿客かどうかの判断がつかない事例あり

- スポーツ合宿は約7割程度、文化芸術合宿は3割程度

合宿受け入れ数・内訳

表12. 合宿受け入れ人数・団体、内訳

項目		
年間平均受入人数	1219.1名	
	最少20名 最大10095名	
年間平均受入団体	30.2団体	
	最少1団体 最大135団体	
人数や団体数の内訳情報	%	(n)
市町村内外	3.1	(1)
県内外	9.4	(3)
国内外	3.1	(1)
市町村内外～県内外	12.5	(4)
市町村内外～国内外	12.5	(4)
内訳の情報はない	15.6	(5)
無回答	43.8	(14)

note：合宿客のみの抽出不可の事例あり

- 寒河江市、山形市、上山市、新庄氏、川西町、米沢市などが人数、団体数とも比較的多い。
- 利用者や団代の内訳（居住地など）はあまり把握されていない。
- ただし、利用時には申請が必要なため、情報は存在していると考えられる。

合宿受け入れ希望

表13. 合宿受け入れ希望

項目	合宿受け入れ希望	
	%	(n)
受け入れたい	56.3	(18)
どちらかといえば受け入れたい	15.6	(5)
どちらでもない	18.8	(6)
どちらかといえば受け入れたくない	3.1	(1)
受け入れたくない	3.1	(1)
無回答	3.1	(1)

- 合宿受け入れ希望に対する理由
  - ポジティブな理由
    - スポーツ振興、スポーツの活用を進めているため
    - 地域活性化やまちづくり、交流人口　増加のため
    - 施設の有効活用のため
    - 経済効果への期待
  - ネガティブな理由
    - 受け入れるだけの施設が不足
    - 宿泊施設、キャパシティがない
    - 施設の老朽化

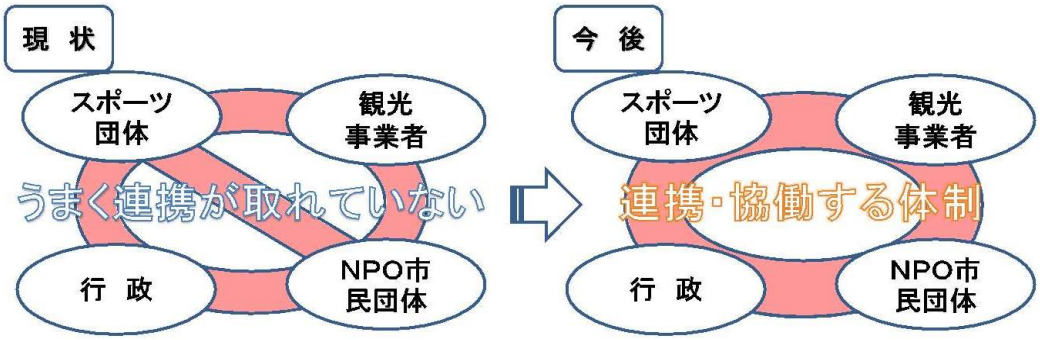
調査から見えてきたこと

- 所有・運営するスポーツ施設に関しては、利用者情報がよく把握されている。
- 自然環境下で行うスポーツ活動や施設に関しては、利用者情報の把握状況は思わしくない。
- 民間施設や、自然公園利用、入山情報などと連携の必要がある。観光統計の活用？
- 所有・運営するスポーツツーリズム資源について、利用者の「目的」「滞在時間」について把握されていない。合宿利用者の情報については、各施設や宿泊施設との連携が必要。
- 比較的軌道に乗っている地域と、これから展開していく地域がある。

山形県スポーツコミッションへ

- 県スポーツコミッションを通した、**イベントや合宿の誘致実績など、事業実績を提供**していただきたい。（ホームページにはいくつか掲載されているが、一覧で分かるものがあればなお良い。）
- 単独の自治体だけでは限度があるため、**広域的な取り組みにつながるような支援や情報発信**
- 名称に「コミッション」が入っておりますが、合宿等で、**調整や委任業務等**がございますか？具体的にどのような業務を行っておりますか？
- **広域での受け入れ体制**など、**観光分野でも体制整備**が整いつつあるので、ぜひ連携していただきたい。　**宿泊は町だけでは人数も限定されているので、広域の取り組みが不可欠**となる。

スポーツ･コミッション

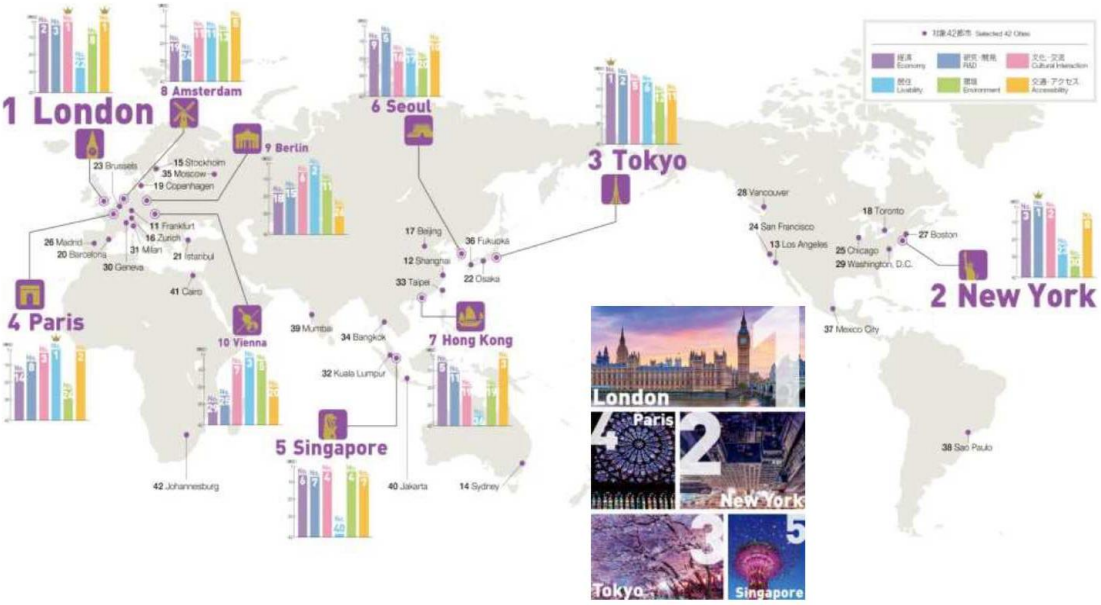


- スポーツツーリズム推進や住民のスポーツ振興のための連携組織（プラットフォーム）
- スポーツとツーリズムに関連する権限と財源が一元
- 化された推進組織による、戦略的な
- **『スポーツによるまちづくり･都市経営』**

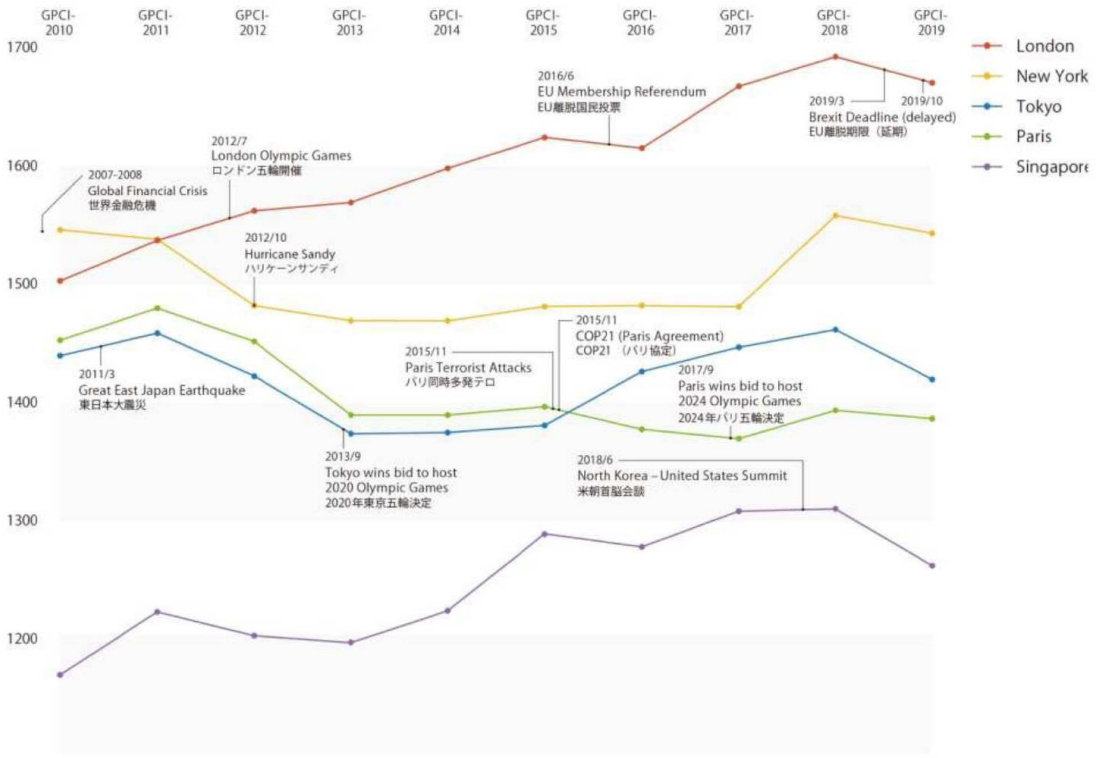
増加

世界の都市総合力ランキング

Global Power City Index(GPCI)2016



森記念財団都市戦略研究所（http://mori-m-foundation.or.jp/ius/gpci/index.shtml），2016


GPCI-2010
GPCI-2011
GPCI-2012
GPCI-2013
GPCI-2014
GPCI-2015
GPCI-2016
GPCI-2017
GPCI-2018
GPCI-2019
1700
1600
1500
1400
1300
1200
London
New York
Tokyo
Paris
Singapore
2007-2008
Global Financial Crisis
世界金融危機
2012/7
London Olympic Games
ロンドン五輪開催
2016/6
EU Membership Referendum
EU離脱国民投票
2019/3
2019/10
Brexit Deadline (delayed)
EU離脱期限（延期）
2012/10
Hurricane Sandy
ハリケーンサンディ
2011/3
Great East Japan Earthquake
東日本大震災
2015/11
Paris Terrorist Attacks
パリ同時多発テロ
2015/11
COP21 (Paris Agreement)
COP21 （パリ協定）
2017/9
Paris wins bid to host
2024 Olympic Games
2024年パリ五輪決定
2013/9
Tokyo wins bid to host
2020 Olympic Games
2020年東京五輪決定
2018/6
North Korea – United States Summit
米朝首脳会談

北海道のスポーツ合宿における自治体の取組みについて

講師　北海道教育大学教授　石澤（いしざわ）　伸弘（のぶひろ）　氏

プロフィール

北海道教育大学　札幌校　教授

1968 年に山形県天童市に生まれる。山形南高等学校、鹿屋体育大学、同大学院を修了後、神戸大学大学院にて博士号を取得。大阪 YMCA、流通科学大学、北翔大学を経て 2012 年４月より現職。現在の研究テーマはスポーツ合宿がもたらす経済波及効果や、学校部活動における諸問題、などなど。

主な著書に、スポーツイベントのマーケティング（共著）、健康スポーツ学概論（共著）などがある。

山形県スポーツコミッション研修会

北海道のスポーツ合宿における自治体の取組みについて

石澤 伸弘
(北海道教育大学 札幌校)
ishizawa.nobuhiro@s.hokkyodai.ac.jp

本日の内容

1. 道内のスポーツ合宿の実施状況

→ 道庁環境生活部　スポーツ局　スポーツ振興課のデータより

2. スポーツ合宿実施自治体の内情

→ 道内市町村調査のデータより

3. スポーツ合宿に参加する側の選定要因

→ 道内合宿実施団体調査のデータより

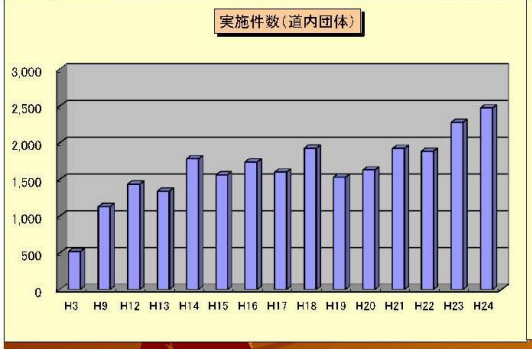
第一部

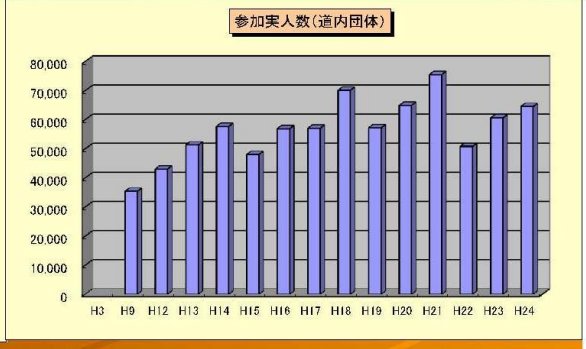
道内のスポーツ合宿の実施状況

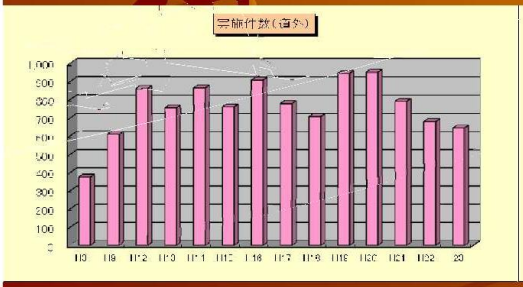
問題の背景

観光立道の北海道では様々や天然資源を活用した観光活動が実施されている．しかし，必ずしも天然の観光資源に恵まれている地域ばかりではなく，そのような地域においては，気象条件や，温泉などの天然資源，または既存のハコモノや，関連人材などを活用し，「スポーツ合宿地」として地域外から人やお金を呼び込み，それを地元経済に還元しようとする試みが展開されている．

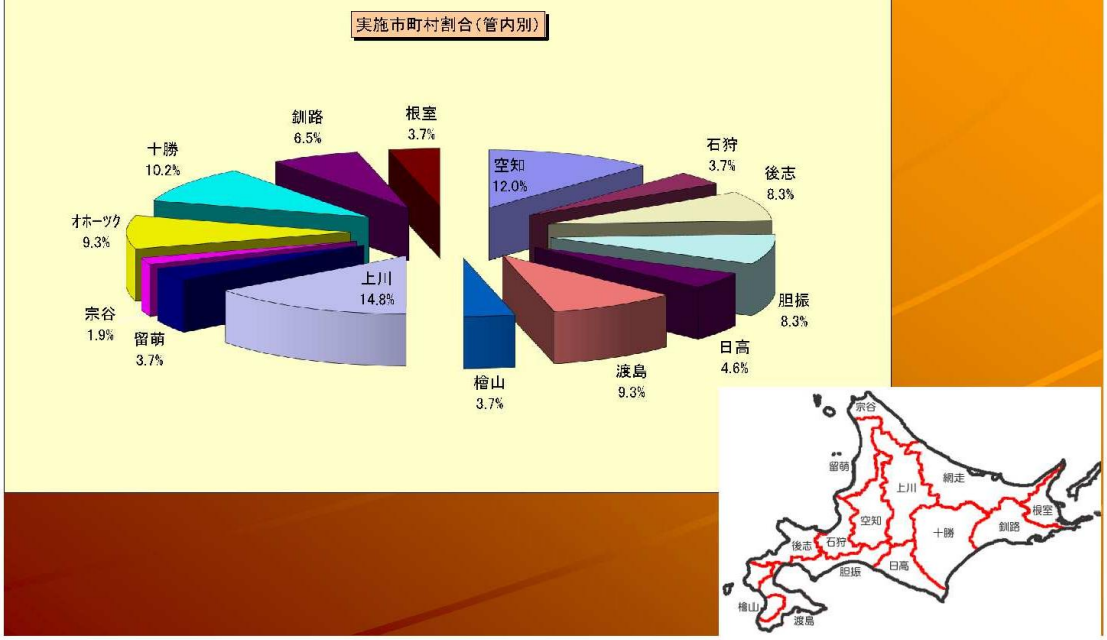
研究結果：実施件数と参加人数



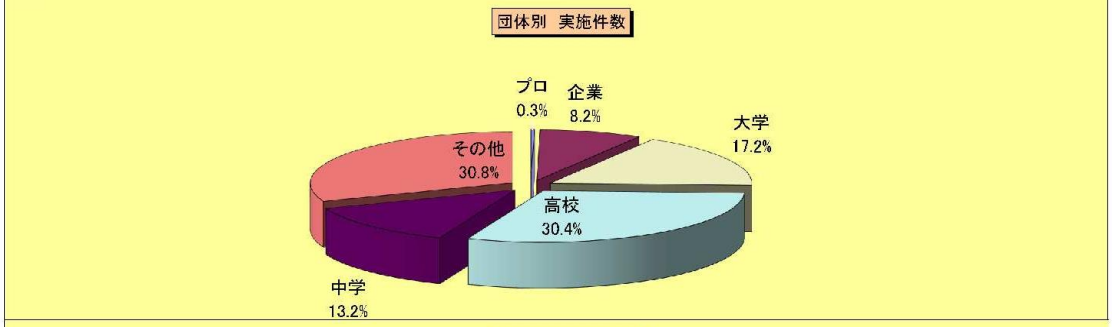


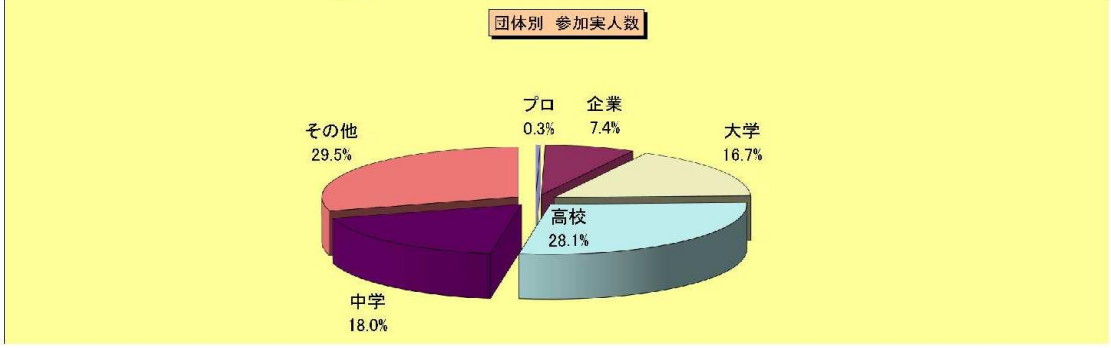


研究結果：管内別実施率



研究結果：実施団体





研究結果：実施種目と人数

道内団体(人)		
1	サッカー	23,852
2	バレーボール	18,998
3	野球	18,820
4	陸上	18,175
5	バスケットボール	13,800
6	スキー(アルペン)	12,759
7	バドミントン	8,553
8	剣道	6,879
9	ミニバスケットボール	5,498
10	アイスホッケー	4,701

道外団体(人)		
1	ラグビー	26,562
2	陸上	20,858
3	スキー(アルペン)	18,789
4	アイスホッケー	13,227
5	バスケットボール	5,464
6	スキー(クロカン)	4,711
7	野球	3,814
8	サッカー	1,919
9	スキー(ジャンプ)	1,311
10	駅伝	1,134

北見市の事例

- 北見市は女満別空港から車で40分の距離にあり，オホーツク圏の産業と経済・文化の中核都市である．人口は約12万人

- スポーツ合宿は，昭和60年から誘致活動を始め，現在ではラグビー・陸上・スキー・カーリングなどが訪れている．

- 近年，「合宿の里　きたみ」として定着．

北見市の事例

北見市HPより転用

北見市の事例

スポーツ合宿受け入れ実績

- 2017年15種目　178チーム　4471名
- 2018年14種目　197チーム　4125名
- 2019年14種目　165チーム　3520名

※　飽和状態が顕著に・・・，
　　最近では隣の網走市との協同も目立つ．

第二部

スポーツ合宿実施自治体の内情

調査について

目的：地域振興策としての「スポーツ合宿地」の現状とこれからの可能性を，道内の該当市町村に着目して明らかにする．

内容：道内全179市町村に質問紙を郵送し，119の自治体から回答が得られ，その中で現在スポーツ合宿を行っている自治体は77であった．

質問：合宿は地域振興の有効ツールになり得るか？

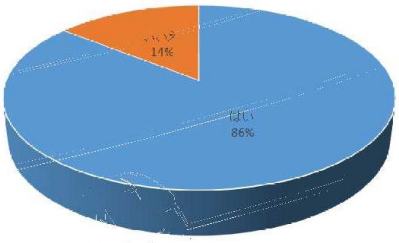


図1．合宿は地域振興の有効ツールか？

ほとんどの実施自治体が「地域振興の有効ツール」と回答．

質問：合宿のターゲットは？

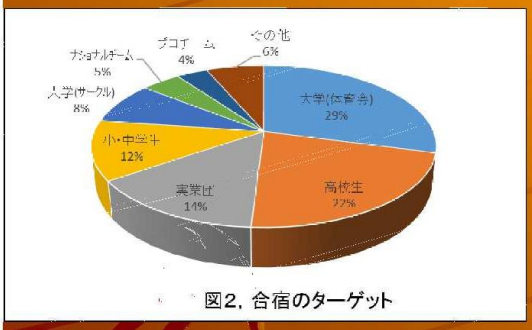


図2，合宿のターゲット

トップチームは少数であり，比較的，近隣からの参加者を想定している．

質問：合宿のPR方法は？

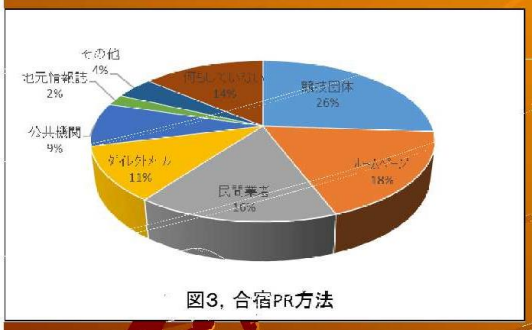


図3，合宿PR方法

「各競技団体への呼び掛け」が最も多かったが，「何もしていない」との回答も14%．これは，「リピート率が高いために，新規でPRする必要がない」のか？「やりたくてもできない」や「やり方がわからない」のか？

質問：合宿誘致の目的は？

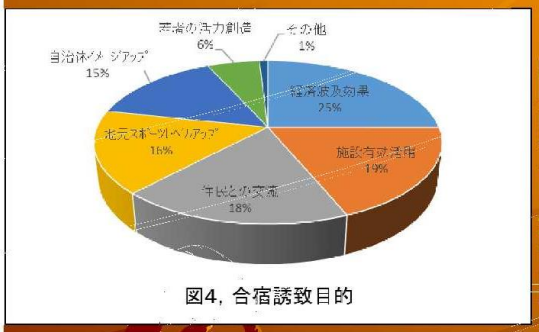


図4，合宿誘致目的

「経済波及効果」が最も高い値となった．「地域振興策」の大きな柱として「スポーツ合宿を誘致し，経済波及効果を生み出す」という道内自治体の思惑が垣間見られる結果といえる．

質問：経済波及効果の算出は？

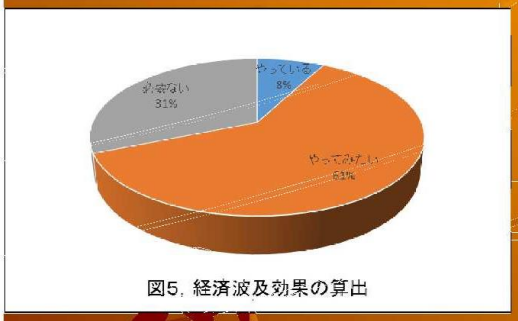


図5，経済波及効果の算出

多くの自治体でスポーツ合宿の「経済波及効果」への期待があることが浮き彫りとなったが，それを実証するための手段やツールはまだ未整備でありことも明らかとなった．

北見市の経済波及効果の検証結果

①	宿泊費	¥165,347,460
②	消費額	¥37,852,850
③	航空券	¥69,485,000
④	スポーツ合宿実行委員会補助金	¥29,499,784
⑤	東陵公園運営管理費 →芝生グラウンド等維持管理費	¥4,571,083
⑥	モイワスポーツワールド運営管理費	¥54,856,646
⑦	常呂川水系緑地スポーツ施設運営管理費 →芝生グラウンド等維持管理強化費	¥38,476,496
⑧	体育施設運営管理費	¥3,428,393
⑨	体育施設等整備費	¥1,611,655
	計	¥405,129,367

収入

支出
経費

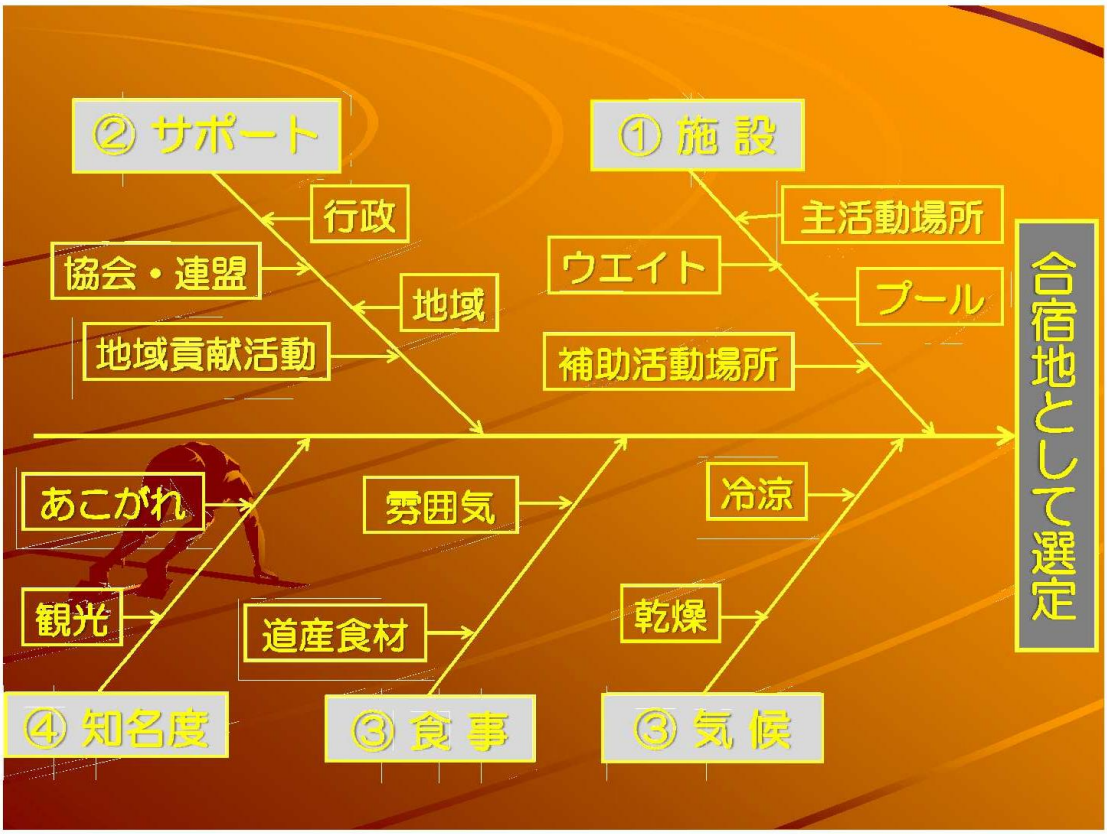
第三部

スポーツ合宿に参加する側の選定要因

調査について

目的：道外に本拠地を置き，道内で合宿行っているトップスポーツチームにおける合宿地の選定要因を明らかにすること

内容：トップチームにおいて，合宿地選定に関与するスタッフにインタビュー調査を実施し，合宿地の選定要因を明らかにした．



問題の背景

道内で実施されているスポーツ合宿は年間２千件程である．ただし，その中でいわゆるトップチームが行う合宿は10%弱となっており，それ以外は，高校や大学，そして中学校が大勢を占める状況である．

この点を踏まえると，本研究の結果は，あくまでもトップチームに特化したためであり，学生や生徒たちを対象とした合宿には必ずしも合致する要因とは限らない．この点は本研究の限界でもあり，今後の課題としたい．

本研究は笹川スポーツ財団からの研究助成を受け，実施しているものです．

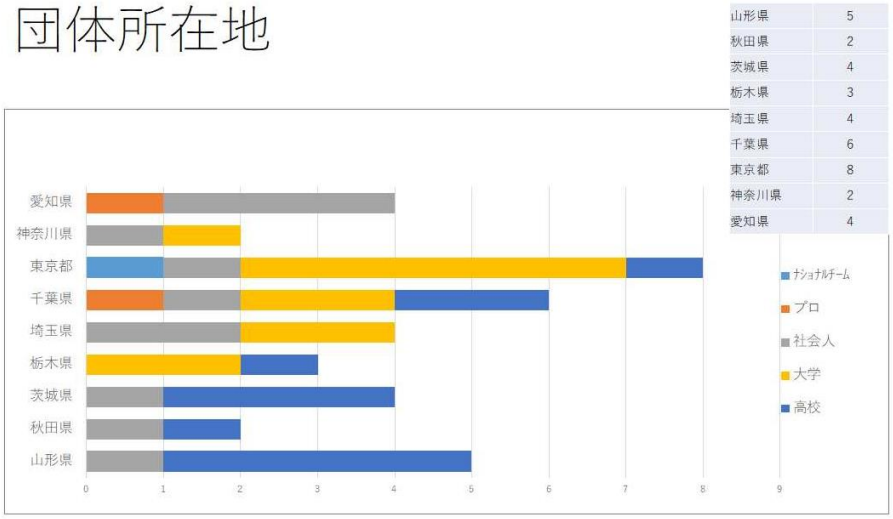
資料　4

2019年度 山形県スポーツコミッション
スポーツ合宿調査

調査協力：上山市教育委員会

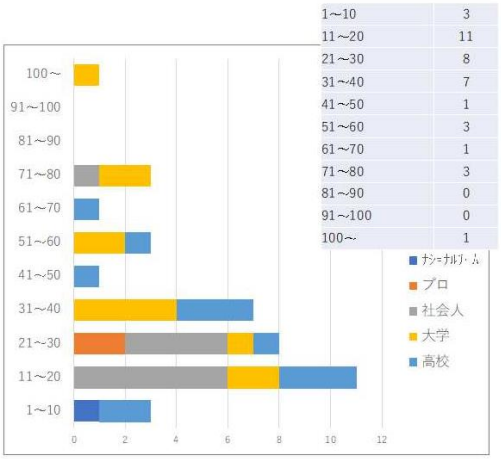
アンケート対象：山形県のスポーツ合宿補助対象団体
上山市アスリートヴィレジ利用団体　} 75団体
（回収率）38団体　50.7%

団体所在地

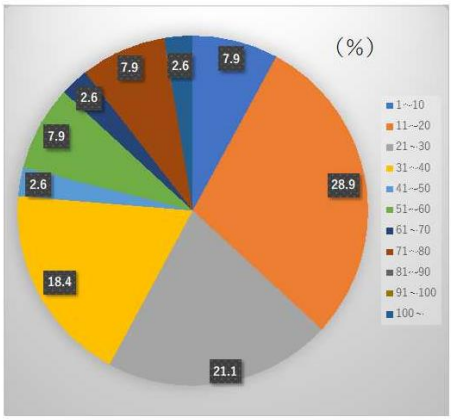


山形県	5
秋田県	2
茨城県	4
栃木県	3
埼玉県	4
千葉県	6
東京都	8
神奈川県	2
愛知県	4

団体所属人数

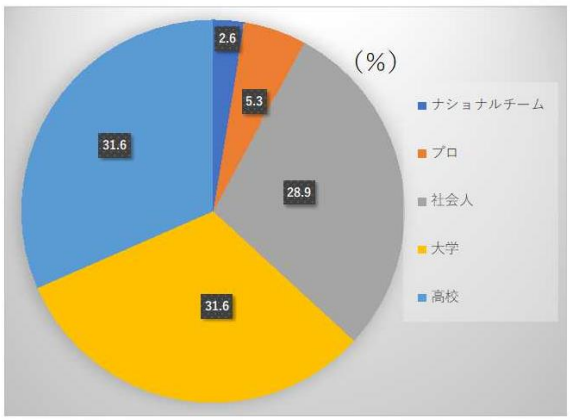


1～10	3
11～20	11
21～30	8
31～40	7
41～50	1
51～60	3
61～70	1
71～80	3
81～90	0
91～100	0
100～	1

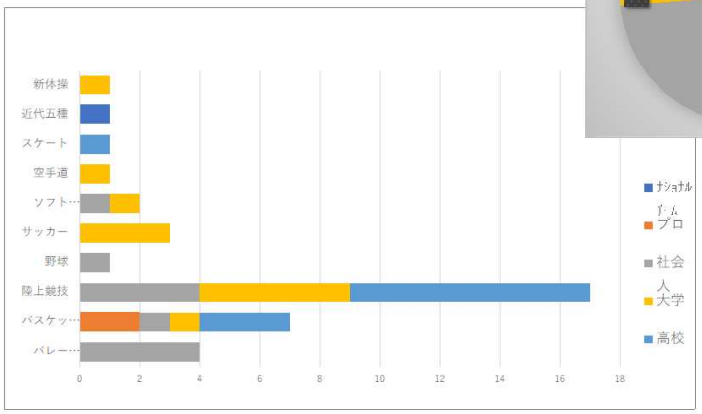


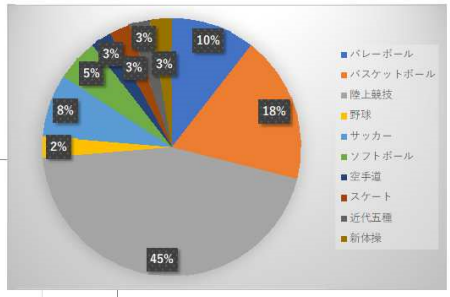
カテゴリー別団体数

ナショナルチーム	1
プロ	2
社会人	11
大学	12
高校	12



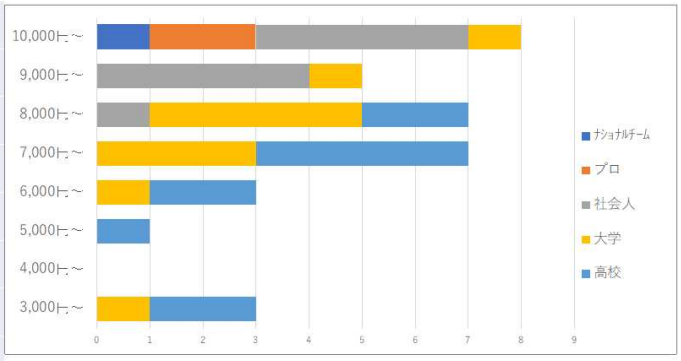
競技種目別団体数



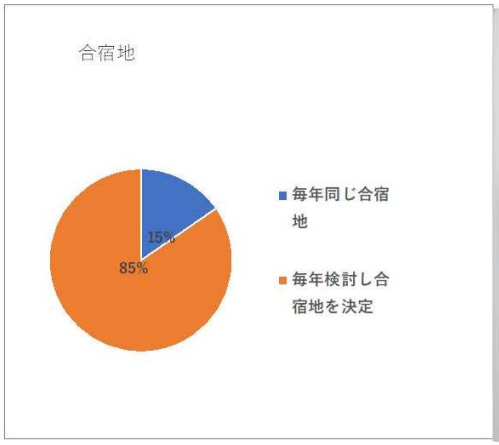


宿泊費用の目安（1泊3食）

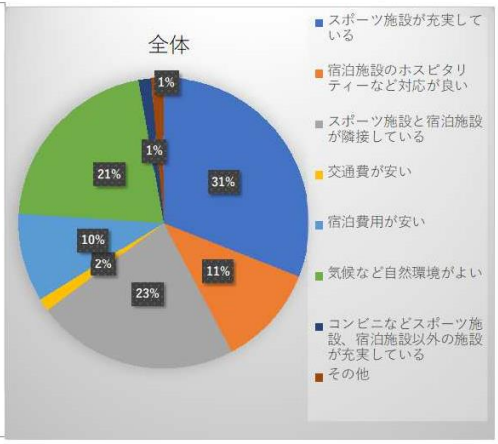
3,000円～	3
4,000円～	0
5,000円～	1
6,000円～	3
7,000円～	7
8,000円～	7
9,000円～	5
10,000円～	8



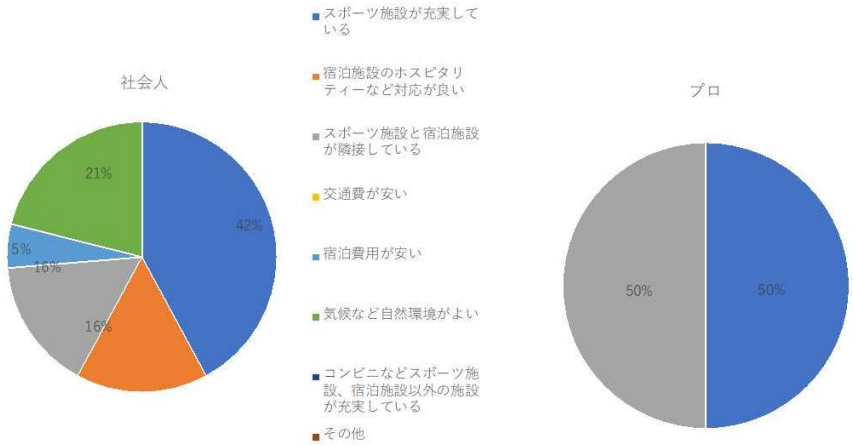
合宿地は毎年同じか別か



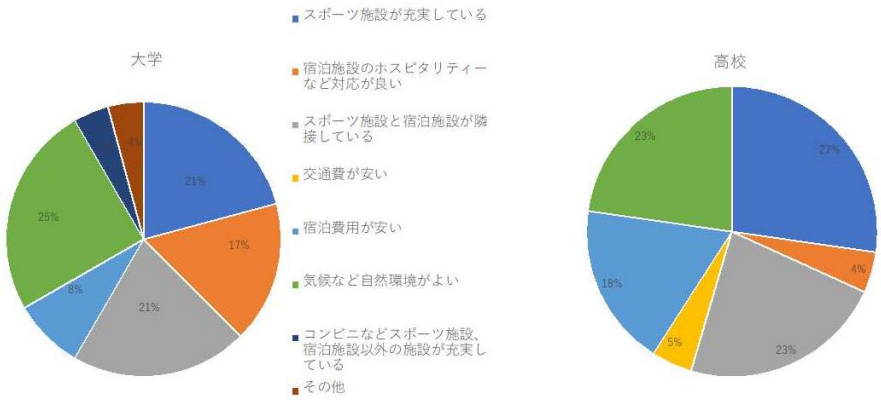
合宿地決定で重視していること①



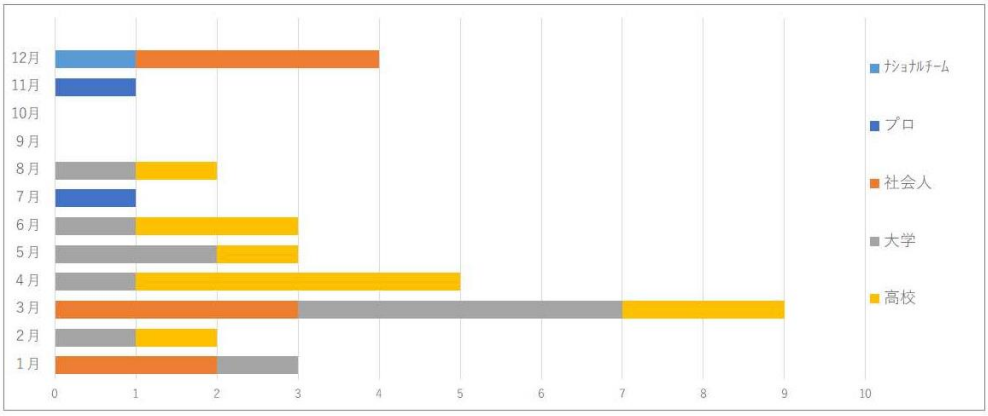
合宿地決定で重視していること②



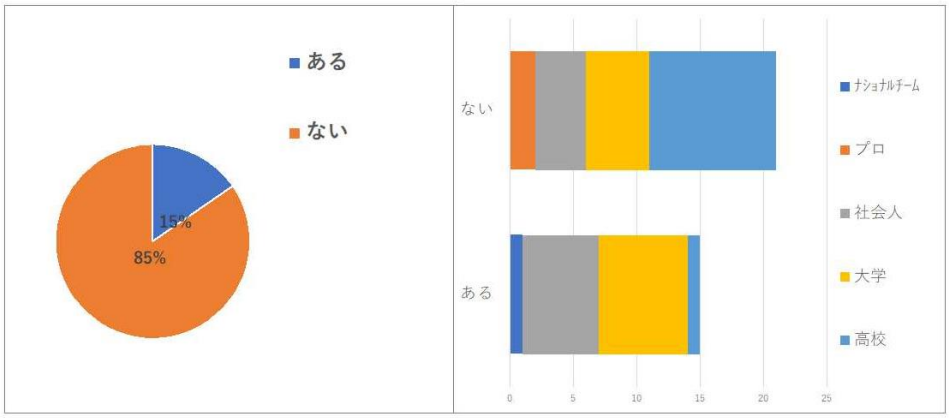
合宿地決定で重視していること③



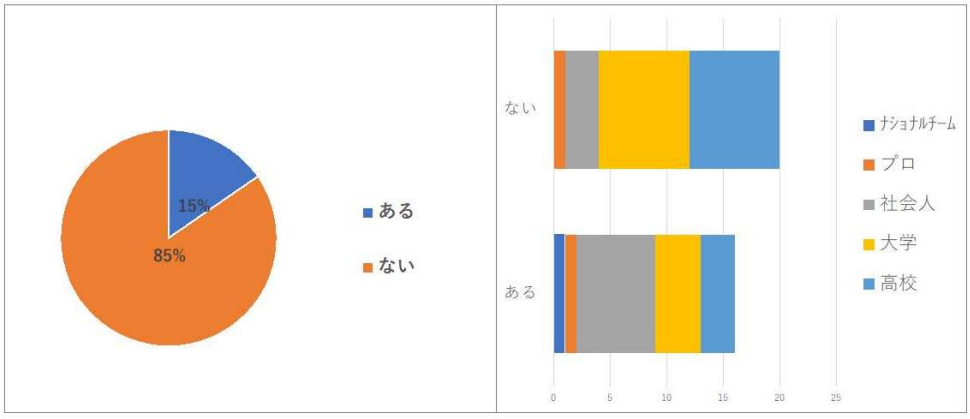
合宿スケジュール決定時期



地元との交流



合宿地での観光



資料　５

パブリックビューイング
事業実績報告書

令和２年１２月

山形県スポーツコミッション

＜プロスポーツパブリックビューイング＞

○ 新型コロナウイルスの影響によりプロスポーツ試合やスポーツイベントの中止が続き、県民のスポーツ観戦機会が減少し、スポーツへの興味や関心が薄れてきているため、コロナ禍でのスポーツ観戦のあり方や楽しみ方を検証しつつ、県民のスポーツへの関心の喚起と、スポーツを通じた賑わいづくりの推進するため、県内に活動拠点を置くモンテディオ山形（Ｊ２リーグ）のアウェイゲームにおいて、桝席の設置等フィジカルディスタンスを確保しつつ、屋外でのパブリックビューイングによる観戦イベントを開催した。

１．事業計画

名称：秋空の下でプロスポーツパブリックビューイング（モンテディオ山形パブリックビューイング）

主催：山形県スポーツコミッション

（事務局：山形県観光文化スポーツ部スポーツ振興・地域活性化推進課
公益社団法人山形県スポーツ振興 21 世紀協会）

日時：2020 年 9 月 5 日(土) 松本戦 17:30-（18:00 KO）
2020 年 9 月 13 日(日) 大宮戦 18:30-（19:00 KO）

場所：ND ソフトスタジアム山形 正面広場

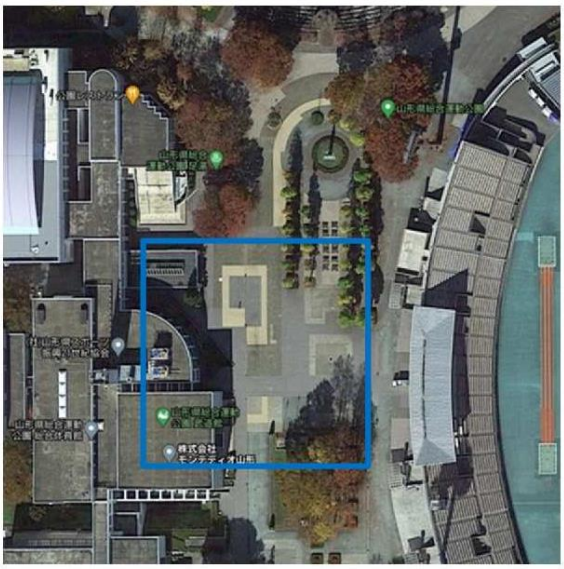
内容：①アウェイゲームのパブリックビューイング、②トークイベント、③飲食ブース

入場：無料

目標：各日 1,000 名

会場：ND ソフトスタジアム山形 正面広場

住所： 〒994-0000 山形県天童市山王１－１ 山形県総合運動公園内



①ビジョンカー、②ステージ、③観覧席、
④飲食コーナー、⑤音響、
⑥本部（受付、検温・消毒）

３．事業効果を高めるために行った工夫

（１）Youtube 配信

・パブリックビューイングを盛り上げるため、ステージを設置し、実況、解説を実施。更に、Youtube での実況を配信することで、来場できない県民に対しても観戦機会を提供。

（２）事前告知の徹底

・チラシ、パンフレットを作成し、県内市町村、各競技団体、企業等へ配布。

・スポーツコミッション及びモンテディオ山形双方からマスコミに対してプレスリリース

・直前となるホームゲームにおいて、ブースを設置し、チラシを配布。

・モンテディオ山形のホームページ、SNS で周知

①チラシ・ポスター（同デザイン）

②モンテディオ山形　ホームページ

③SNS での周知

Twitter

facebook

instagram

YouTube

④9 月 2 日（水）モンテディオ山形ホームゲームでのチラシ配布

チラシ配布

ブース設置

⑤新聞報道（開催前）

前進 モンテ J2

今季初の屋外PV アウェー戦に集え

5日と13日 NDスタ脇広場

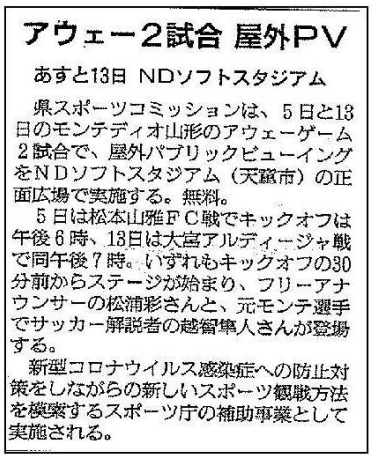
サッカーJ2・モンテディオ山形の9月に行われるアウェー2試合で、今季初めて屋外でのパブリックビューイング（PV）が開かれる。検温などの感染対策を施した上で飲食スペースを設け、サッカー解説者を招いたイベントを企画している。

対象の試合は5日の松本戦（午後6時開始）と13日の大宮戦（午後7時開始）。会場は天童市のNDソフトスタジアム山形脇の広場で、トラックに積載した大型ビジョンで観戦する。入場は無料。公式戦と同様に検温で37・5度以上の場合は観戦できず、手の消毒とマスク着用を義務付ける。

専用の椅子は設けない予定で立ち見か、敷物などを各自準備する。ホーム戦同様に飲食店ブースを設け、キックオフ前からサッカー解説者の越智隼人さんらが見どころを紹介する。

PVは新型コロナウイルスに関連するスポーツ庁の補助事業として、県と県スポーツ振興21世紀協会が事務局を担う県スポーツコミッションが主催する。問い合わせは株式会社モンテディオ山形023（666）8882。

9/4 山形新聞



アウェー2試合 屋外PV

あすと13日 NDソフトスタジアム

県スポーツコミッションは、5日と13日のモンテディオ山形のアウェーゲーム2試合で、屋外パブリックビューイングをNDソフトスタジアム（天童市）の正面広場で実施する。無料。

5日は松本山雅FC戦でキックオフは午後6時、13日は大宮アルディージャ戦で同午後7時。いずれもキックオフの30分前からステージが始まり、フリーアナウンサーの松浦彩さんと、元モンテ選手でサッカー解説者の越智隼人さんが登場する。

新型コロナウイルス感染症への防止対策をしながらの新しいスポーツ観戦方法を模索するスポーツ庁の補助事業として実施される。

9/4 朝日新聞

（３）アンケートの回収

・アンケートの回収を確実に行うため、回答者に対して、エコバックを用意。山形県及び山形県スポーツコミッションからの無償提供を受けた山形銘菓（ミルクケーキ）とクリアファイルを合わせてプレゼントした。

４．実施内容及び結果

（１）パブリックビューイング（１回目）

日　　時　：　９月５日（土）　18:00 キックオフ

天　　候　：　晴れ

観客人数　：　360 人

そ の 他　：　桝席を設定

試合内容　：　①対戦相手　松本山雅 FC、②会場　サンプロ アルウィン、③勝敗　0-1 で　敗戦

概要　本部で受付けを行い、検温と手指消毒を実施。受付済みの方にはリストバンドを装着。桝席や１席空けたベンチシートを設定し、フィジカルディスタンスを確保しつつ、キッチンカーの出店により、飲食をしながらパブリックビューイングを開催した。

スポーツコミッションの構成団体である３市町（山形市、東根市、高畠町）から視察があった。

本部（受付、消毒、検温）

消毒、検温

消毒、検温

来場者への掲示

マス席

イス席

ビジョンカー

パブリックビューイング①

パブリックビューイング②

パブリックビューイング③

多くのサポーターが訪れたパブリックビューイング＝天童市・県総合運動公園

前進 J2 モンテ

松本に0―1

サッカーJ2・モンテディオ山形は5日、長野県松本市のサンプロアルウィンで松本と対戦し、0―1で敗れた。通算成績5勝7分け5敗で、順位は一つ下げて暫定13位。＝18面に関連記事

序盤から優位に試合を進めたが、決定機を逸し、前半は0―0で折り返した。後半31分、相手にPKを与えて失点し、7試合ぶりの敗戦となった。

次節は9日、ホームで福岡と顔を合わせる。

敵地に届け ＰＶで応援 天童

アウェー戦の雰囲気を味わってもらおうと、モンテディオ山形の松本戦は天童市の県総合運動公園で屋外のパブリックビューイング（ＰＶ）が行われ、350人が熱戦を見守った。

新型コロナウイルスの影響で敵地での観戦はできないため県スポーツコミッションが企画した。公園内にトラックに載せた大型ビジョンを設置。来場者は勝利を信じて拍手を送った。家族５人で訪れた天童市山元、会社員山口曇さん(44)は「テレビよりも臨場感があり、全員で楽しめた」と話した。ＰＶは13日の大宮戦でも行われる。

（相原健佑、関賢一郎）

９月６日　山形新聞

（２）パブリックビューイング（２回目）

日　　時　：　９月 13 日（日）　17:00 キックオフ

天　　候　：　曇りのち雨

観客人数　：　160 人

そ の 他　：　桝席を設定

試合内容　：　①対戦相手　大宮アルディ―ジャ、②会場　NACK5 スタジアム大宮、
③勝敗　1-1 で　引き分け

概要　　本部で受付けを行い、検温と手指消毒を実施。受付済みの方にはリストバンドを装着。当日雨予報のため、桝席は設置せず、ベンチ席を配置。試合開始前には雨となり、試合開始後、激しくなったものの、160 人の参加があった。

試合開始前

ビジョンカー・解説ブース

パブリックビューイング①

パブリックビューイング②

パブリックビューイング③

パブリックビューイング④

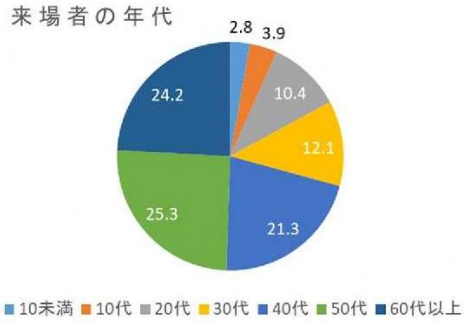
（３）アンケート調査

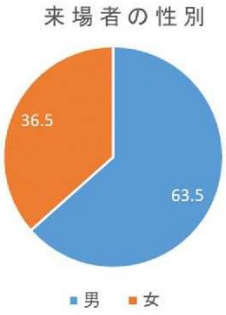
・来場者数　520 名　回答者数　356 名　回収率　68.5%

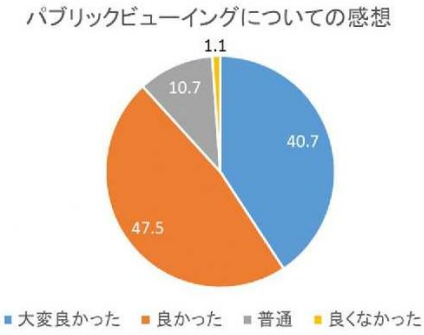
・パブリックビューイングについては９割近くの方が「大変良かった」、または「良かった」と答えている。 また、新型コロナウイルス対策としてマスク着用、検温、手指消毒、ソーシャルディスタンスをとった座席の配置等を実施した結果、不安を感じた方が 1.1%と極少数であった。

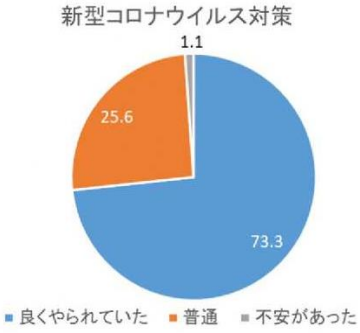
・形県スポーツコミッションについて、知っていると答えた方が 29.2%と低かった。

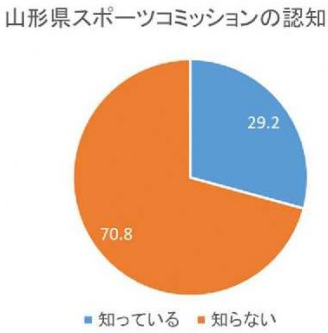
・今後期待するスポーツイベント企画としては９割近くの方がスポーツ観戦と答えている。

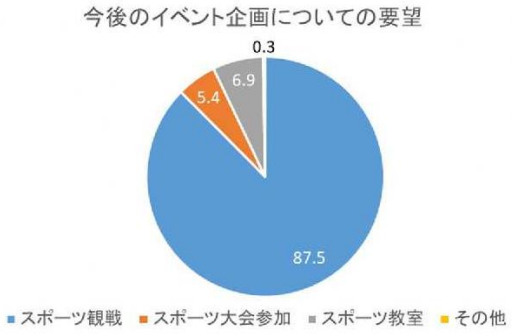






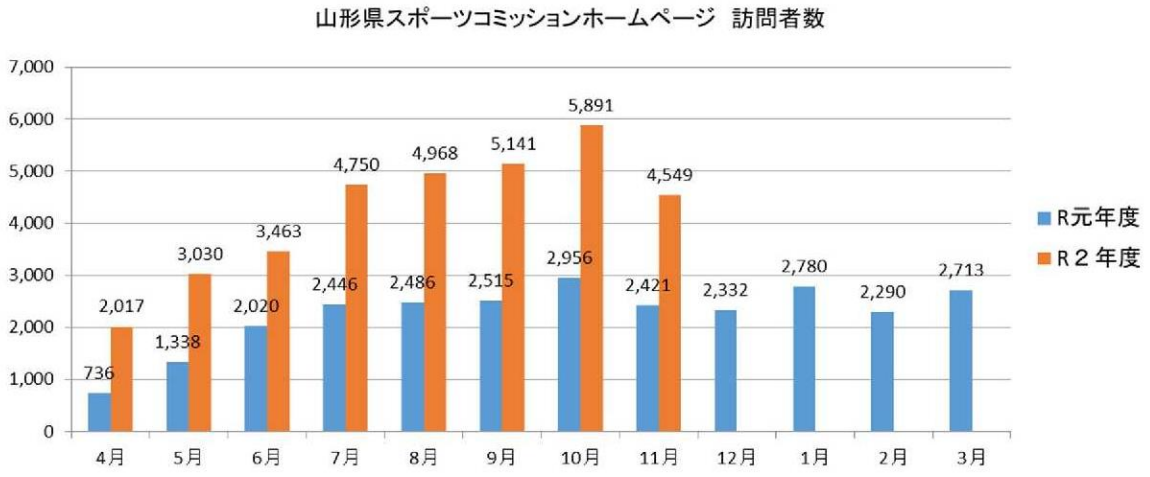






（４）ホームページアクセス数

・山形県スポーツコミッションのホームページアクセス数は、目標とする令和２年度の訪問者数 30,000 人を、11 月に超えた。同期比（4 月～11 月）で 199.8%と大幅に増加して推移している。

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R元年度	736	1,338	2,020	2,446	2,486	2,515	2,956	2,421	2,332	2,780	2,290	2,713
R2年度	2,017	3,030	3,463	4,750	4,968	5,141	5,891	4,549